

神奈川県病院協会会報



第55号

●2025.3●

無償検証ご案内中!

DARKTRACE

ランサムウェアなどの**未知の脅威**を検知・遮断する
最新のセキュリティソリューション

Darktrace

とは

検知
DETECT

調査
INVESTIGATE

対処
RESPOND

自己学習型AIを搭載したNDRソリューション
定常から逸脱する未知で予測不可能あらゆる脅威から防御
リアルタイムで脅威を検知～調査～対処まで1つのプラットフォームで実現します。



1.検知：DETECT

内部ネットワーク上の脅威をリアルタイム検知しアラート

2.調査：INVESTIGATE

AIがアラート分析し、レポートを瞬時に自動作成

3.対処：RESPOND

異常な通信をピンポイントで遮断、通常業務に影響なし

✓ **閉域網での分析も可能**

非シグネチャのため、
外部接続を必要としない

✓ **医療IoTデバイスを監視可能**

エージェント不要

✓ **ネットワーク内部の
相関分析を実現**

縦横双方の通信を全体で網羅

**Darktraceを導入することでランサムウェア対策や
内部不正対策を負荷の少ない高度なセキュリティ運用が可能**

POV Proof Of Value

お客様の環境で見えていなかった脅威を可視化し、
課題発見から今後の課題まで策定可能なプログラムです。
管理コンソールであるThreat Visualizerの利用だけでなく、アナリストから
検知内容についてのレポート(Threat Intelligence Report)を提供、解説致します。

まずはPOVでお試ください



1st Week

機器設置

2nd Week

レポート報告会①

3rd Week

レポート報告会②

4th Week

レポート報告会③



株式会社アイネット
〒144-8721 東京都大田区蒲田 5-37-1
ニッセイアロマスクエア 13階

Contact

DX本部 業務統括部 セールスサポート室
TEL : 03-5480-3500 Mail : security-sol@inet.co.jp

巻頭言	1
過ぎ去りし昔とこれから	神奈川県病院協会 副会長 長堀 薫
行事	3
・2025年神奈川県病院協会 新年賀詞交歓会	
・第43回 神奈川県病院学会	
・事務長等表彰 表彰式	
・2024年度神奈川県看護師等養成実習病院の指導者表彰式	
・第39回 全国医療法人経営セミナー	
栄典	15
叙勲の栄誉を戴いて	湘陽かしわ台病院 名誉院長 高原 和享
藍綬褒章を受章して	神奈川県病院協会 理事 山口 哲顕
随想	18
今後の医療を見据えて	川崎市病院協会 会長 内海 通
私が尊敬する郷土の偉人	湘南病院協会 会長 鈴木 紳一郎
業務上の転機となった出来事	公益社団法人神奈川県薬剤師会 会長 山田 裕之
臨床工学技士法改正とタスク・シフト/シェア	公益社団法人神奈川県臨床工学技士会 会長 大石 竜
“おやじカンタービレ”…趣味の時間ですよ!	神奈川県病院協会 理事 三松 興道
当院における医師時間外労働上限規制への対応について	横須賀市立うわまち病院 事務次長 高野 昇平
勤め人の思い出と、これから～不如楽之者～	神奈川県病院協会 前事務局長 木村 博嗣
寄稿	33
一かながわ地域看護師養成普及事業について	神奈川県病院協会 副会長 窪倉 孝道
プロジェクトX ー挑戦者たちー	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 病院長 原口 直樹
「がん口コモ」知っていますか?	横浜市立みなと赤十字病院 院長 大川 淳
梅根性	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央院長 病院長 川田 望
仕事と子育て	医療法人裕徳会よこはま港南台地域包括ケア病院 総合診療医 廣見 優美
復活するか「外科医にあらずんば医者にあらず」	神奈川県病院協会 常任理事 篠原 裕希
会員病院・賛助会員紹介	48
(入 会)	神奈川中央病院
(新 築 等)	京浜総合病院 ゆめが丘総合病院
(賛助会員)	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 神奈川県医療福祉企業年金基金 株式会社アイネット 株式会社日本教育クリエイト 東洋羽毛首都圏販売株式会社 株式会社イントラスト 株式会社第一食品 日揮株式会社 リタワークス株式会社 株式会社エコ医療クリーン 株式会社ドコモビジネスソリューションズ 神奈川支店
編集後記	66
	神奈川県病院協会 理事 栗田 啓司



表紙写真

「オナガ」尾長 *Cyanopica cyanus*

スズメ目カラス科オナガ属の留鳥。全身34～39cm、尾羽20～23cm。

名前の由来は尾羽が長い事に依る。

ユーラシア大陸の東西両端に分布。ロシア東部・中国東部・日本関東以北及び

イベリア半島に生息。

森林や竹林を好み、一夫一妻制で家族群を構成している。

横浜市金沢区の長浜公園で撮影：神奈川県病院協会 常任理事 長倉 靖彦

巻頭言



過ぎ去りし昔とこれから

神奈川県病院協会 副会長
(横須賀共済病院 病院長)

長堀 薫

いつも神奈川県病院協会をご支援いただき、深く感謝申し上げます。みなさまのおかげをもちまして、昨年の協会設立50周年の記念誌の発行、みなとみらいでの記念パーティとも無事に済みました。ありがとうございます。

さて、病院を取り巻く環境は厳しさを増すばかりで、楽しい話ってほとんど耳にしないような気がします。今は昔、もう半世紀近くも前にドクターになったころは違いました。日本は高度成長期の真ただ中で高齢化率も9%と若い国で、オーベンには金の事なんか考えているヤツは碌な医者にならねえと教育され、なんとかオペがうまくなりたいと喰らいついて仕事が終わったら街に繰り出してどんちゃん騒ぎでした。

もちろんコンプライアンスに照らせば相当いいかげんでもあり、外科医の働き方などブラックの極致で救急当直の翌日もオペや術後管理するのが当然でしたが、「24時間働けますか？」ってCMがあったくらい日本全体が働き中毒でした。あの高揚感に溢れ、騒乱と喧騒、熱狂の時代が戻ることは、よくいえば成熟した社会である日本にはもうないでしょう。

1953年（昭和28年）生まれの自分の幼少期にテレビ、電話は貴重品であり、車やエアコンなど夢のまた夢であり、今のように子供ですらポータブルのパーソナルコンピューター：スマートフォンを持ち、その気になれば誰でも車を買えて、失業率が2.6%と世界でも低く教育も無償化になろうかという時代は、当時からは想像もできない理想郷のはずなのですが、なかなか世の中はままならず。国連の「世界幸福度レポート2024年版」によれば、日本の幸福度は世界143か国中51位と低迷し、少子高齢化や低下し続けるGDPランキング、弱くなる国際競争力と課題は山積しています。

病院の事業はこれからどうなるのでしょうか。

残念ながら、構造不況業種かもしれません。すでに毎年1%程度の病院が消えているとされます。人口減でも高齢化によって補われていた医療ニーズがいよいよ減ってきます。新型コロナウイルス禍で生じた受療行動の変容である、できるだけ病院には行きたくないが定着し、オンラインでの在宅勤務や受診が増えていきます。

取り巻くミクロの医療環境も厳しい。2023年における医療費の47兆円は、国の一般会計

予算の44%に当たります。これが毎年物価スライドで上昇するのは、期待し難いのではないのでしょうか。

2040年に向けて急速に減少する労働力不足も深刻です。出生数は70万人を切りましたが、1学年の医学部、薬学部、看護師養成所の定員は9,500人、65,000人、13,000人などコメディカルや事務を含めると10万人を超える人材リソースが必要ですが、給料が上がりにくい医療界に新人が集まるでしょうか。医療スタッフは増えないものと覚悟して、対応しなければなりません。

また、若手の意識の変化も激しく、直美と言われる卒後すぐの美容整形クリニック希望が年200人いるとされます。救急車台数が年に14,000台、max 1日65台を受ける当院では、研修医を含め意欲に富む若手医師が働いてくれています。これが未来永劫続く保証はありません。

すでに1病院で課題を解決するのは、不可能な時代に入っているのではないのでしょうか。1病院完結型から、早めに地域完結型医療へのパラダイムシフトを進めるべきと思われます。広い地域に1つの病院しかない場合は総合的になんでも診ざるをえませんが、神奈川県は人口密度が全国3位の密集地域なので、複数の病院が機能分化してネットワーク化しやすい県です。連携してヒト、モノ、患者さんなど有効に振り分けて、自院の強みを最大限に活かしたマネージメントに徹する必要があるのではないのでしょうか。

もう一つの解決策はDX（デジタルトランスフォーメーション）です。これはデジタル技術を活用して医療を変革することで、大きな可能性を持っています。日本では、看護師7:1基準などストラクチャー重視で頭数を揃えることに重点がおかれてきました。実はAIなどの力を借りることで、スタッフの労働負担を軽減することができ、患者さんには利便性とより安全な医療を提供できます。

当院は2018年から内閣府のAIホスピタルプロジェクトに参画し、ベンダーと開発を進めてきました。1例として、PHSから転換を進めているスマートフォンにはソフトウェアサービス社の電子カルテを搭載し、自然言語処理により音声入力ができるようにし、AI画像解析による薬剤鑑別機能を装備しています。もちろんスマホですので、チャット機能で申し送りや医師への伝達などでき、画像認識により書類をテキスト化してカルテに記載することも可能であり、スタッフの負担となっている記録業務が簡素化されており、浮いた時間は患者さんのケアに充てられています。

地域では、昨年から3カ年計画で「さくらネット」を立ち上げました。これはよこすか・みうら二次医療圏を中心とした、EHR(Electronic Health Record)による医療デジタルネットワークです。医療介護総合確保基金でイニシャルコストを負担していただき、地域で医療デジタル情報を共有化します。当院に救急車で搬送される患者さんの半数は来られた時点で、診療情報が0です。これを解消したいと考えています。

今後とも厳しい環境は続くでしょうが、新たな方策も加えて解決を図りたいと志しています。よろしく願いいたします。



2025年 神奈川県病院協会 新年賀詞交歓会

- ◆開催日時 2025年1月15日(水) 17時30分～19時30分
- ◆開催場所 横浜ベイホテル東急 「クイーンランドボールルーム」
- ◆出席者 272名
- ◆式次第

司	会	常任理事	三角 隆彦
1	開	副会長	長堀 薫
2	主催者挨拶	会 長	吉田 勝明
3	来賓祝辞	神奈川県知事	黒岩 祐治 様
		神奈川県議会副議長	近藤 大輔 様
		神奈川県医師会会長	菊岡 正和 様
4	(1) 入会病院紹介	(2020年10月入会 秦野厚生病院)	
		(2021年9月入会 よこはま港南台地域包括ケア病院)	
		(2024年2月入会 戸塚共立いずみ野病院)	
		(2024年5月入会 横浜新都市脳神経外科病院)	
	(2) 賛助会員紹介	個人1・有床診1・法人20	
5	祝電紹介		
6	鏡 開 き		
7	乾 杯	第六代会長	長倉 靖彦
8	閉 会	副会長	窪倉 孝道



司会 三角常任理事



主催者挨拶 吉田会長



開会 長堀副会長



来賓祝辞 神奈川県 黒岩知事



神奈川県議会 近藤副議長



神奈川県医師会 菊岡会長



鏡 開 き



乾杯 長倉第六代会長



閉会 窪倉副会長



会場の様子

“多数のご参加ありがとうございました！”

第43回 神奈川県病院学会

◆ テーマ 「いのち」を守る病院の未来 ～災害医療と医療DX～

◆ 開催状況

2024年9月18日(水) 13:00～18:00
 ホテル・ザ・ノット ヨコハマ (実地開催のみ)

◆ 参加者 203人

◆ 内容

○特別講演

「災害時医療とデジタルトランスフォーメーション (DX)」

講師：地方独立行政法人神奈川県立病院機構理事長 阿南 英明



吉田学会長挨拶

○シンポジウム

座長：副会長 (学術委員会委員長)

横須賀共済病院病院長 長堀 薫

テーマ：「医療DXの未来」

シンポジスト発表

「多職種協働ネットワークの最適化 –人が真ん中になる医療を目指して–」

社会医療法人石川記念会HITO病院 理事長 石川 賀代

「大阪大学医学部附属病院A Iホスピタルの取り組み」

大阪大学大学院 医学系研究科社会医学講座教授 川崎 良

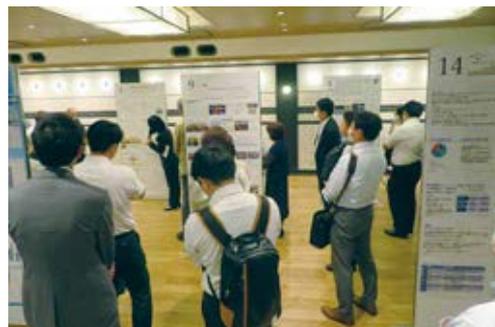
意見交換

○一般演題 全30演題 (口演発表14演題・ポスター発表16演題)

○学会長表彰

一般演題 (口演発表) 優秀演題 3名

一般演題 (ポスター発表) 優秀演題 3名 ※演題・口演者名は別途記載。



【特別講演】



地方独立行政法人
神奈川県立病院機構
阿南 英明

【シンポジウム】



座長
副会長(学術委員会委員長)
横須賀共済病院 病院長
長堀 薫



社会医療法人石川記念会
HITO病院 理事長
石川 賀代



大阪大学大学院医学系研究科
社会医学講座教授
川崎 良



【学会長表彰(一般演題優秀演題者)】

□演発表者

受賞者	所属	演題名
堤 泰輔 (薬剤師)	クローバーホスピタル (薬剤科)	当院におけるポリファーマシー対策～災害時の薬品不足を見据えて～
田村 亜希子 (管理栄養士)	さがみりハビリテーション病院(栄養科)	厨房業務改善の取り組み～調理済みパッケージ「モバイルプラス」導入による効率化と食事満足度向上～
佐野 晴美 (医療ソーシャルワーカー)	神奈川県医療ソーシャルワーカー協会(会長)	「身寄りがなく判断能力が不十分又は喪失した人への入院中に行う相談支援(ソーシャルワーク)に関するアンケート」についての報告

ポスター発表

受賞者	所属	演題名
矢口 達也 (事務職)	済生会横浜市東部病院 (災害医療対策室)	災害時における情報伝達ツールについて ～IP無線アプリ活用の検討～
小川 史洋 (医師)	横浜市立大学附属病院 (救急科)	救急・集中治療診療の並列診療に対する重症患者管理ツールiBSENの有用性の検討と災害医療に対する今後の展望
難波 真砂美 (臨床検査技師)	横須賀共済病院 (中央検査科)	当院検査科の災害対策への取り組み



事務長等表彰 表彰式

- 趣 旨 神奈川県病院協会の会員病院における事務長等に対し、永きにわたり病院の運営に尽力され、かつ病院協会の発展のために功績があったことを讃え、表彰するもの
- 要 綱 神奈川県内の事務長等歴が10年以上かつ県病院協会ならびに地区病院協会において委員会等、活動歴が顕著である者
- 表彰者 神奈川県病院協会 会 長 吉田 勝明
- 進 行 神奈川県病院協会 副会長（担当委員長） 窪倉 孝道
- 今号では、2022年度、2023年度、2024年度に受賞された皆様をご紹介します。

2022年度

- 実施日 2023年3月1日(水)
第9回理事会に於いて 神奈川県総合医療会館7階講堂
- 受賞者 湊野辺総合病院 医療企画部長 武田 匡弘
たま日吉台病院 事務長 細谷実知博
新中川病院 事務部長 松田 隆



2023年度

- 実施日 2024年3月6日(水)
第9回理事会に於いて 神奈川県総合医療会館2階会議室
- 受賞者 藤沢湘南台病院 事務部長 渡辺紳一郎
藤沢御所見病院 事務管理部長 七尾 重保



2024年度

- 実施日 2025年2月5日(水)
第7回理事会に於いて 神奈川県総合医療会館2階会議室
- 受賞者 太田総合病院 事務局長 伊藤 正行
横浜南共済病院 顧問 大嶋 一郎
横須賀市立うわまち病院 事務次長 高野 昇平



神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会 2024年度神奈川県看護師等養成実習病院の指導者表彰式

- 日 時 2024年8月14日（水） 16時 横浜ベイホテル東急
「アンバサダーズボールルーム」
- 趣 旨 看護実習生の教育に尽力されている実習指導者で、県内の臨地実習指導に、
通算10年以上従事し、特に功労のあった者の功績を讃える。
- 受賞者 6名（施設名五十音順）
- | | |
|-------------|-------|
| 北里大学病院 | 青木 謙治 |
| けいゆう病院 | 福田喜英子 |
| 紫雲会横浜病院 | 高瀬 微子 |
| 日向台病院 | 福本 真也 |
| 平塚市民病院 | 進藤 厚子 |
| 横須賀市立うわまち病院 | 菊地さとみ |



次 第

○表彰状・記念品授与

表彰者 神奈川県 健康医療局長 足立原 崇
神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会 会長 長堀 薫

○祝 辞

神奈川県健康医療局長 足立原 崇
神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会 会長 長堀 薫

○受賞者挨拶

○記念撮影

表彰状・記念品授与



祝 辞



受賞者挨拶



第39回 全国医療法人経営セミナー



挨拶 一般社団法人日本医療法人協会 加納繁照 会長



元内閣総理大臣ビデオメッセージ
菅 義偉 衆議院議員



挨拶 新納憲司 実行委員長



首藤健治
神奈川県副知事



山中竹春 横浜市長



公益社団法人神奈川県医師会
菊岡正和 会長



四病院団体協議会
公益社団法人全日本病院協会
中村靖彦 副会長

2024年11月16日(土)(前夜祭は15日(金))、「第39回全国医療法人経営セミナー」が、横浜ロイヤルパークホテルで一般社団法人日本医療法人協会・日本医療法人協会神奈川県支部の主催、公益社団法人神奈川県病院協会等の共催により開催されました。

セミナーでは「今日的医療経営の地平線」をテーマに特別講演5演題とシンポジウム発表が行われ、充実した内容に全国から参加した多くの方が熱心に耳を傾けていました。

- ◆開催状況 横浜ロイヤルパークホテル
- セミナー 2024年11月16日(土) 9:00~17:00
- 前夜祭 11月15日(金) 17:30~19:30
- ◆参加者 経営セミナー 287人 前夜祭 135人
- ◆開会セレモニー

総合司会	医療法人愛仁会太田総合病院	理事長	太田 史一
挨拶	第39回全国医療法人経営セミナー	実行委員長	新納 憲司
//	一般社団法人日本医療法人協会	会長	加納 繁照
来賓挨拶	神奈川県知事 黒岩祐治(代理)	副知事	首藤 健治
	横浜市	市長	山中 竹春
	公益社団法人神奈川県医師会	会長	菊岡 正和
	四病院団体協議会		
	公益社団法人全日本病院協会	副会長	中村 靖彦
	元内閣総理大臣ビデオメッセージ	衆議院議員	菅 義偉

◆内 容

・特別講演

特別講演Ⅰ 「わが国の医療の地平線 -2040年に向けた課題とその対応-

講師 国立保健医療科学院(厚生労働省 前医政局長) 次 長 浅沼 一成
座長 公益社団法人川崎市病院協会 会 長 内海 通

特別講演Ⅱ 「民間病院の地平線 -医療財政、診療報酬から我々の行き先を考える-

講師 一般社団法人日本医療法人協会 副 会 長 太田 圭洋
座長 公益社団法人相模原市病院協会 会 長 土屋 敦

特別講演Ⅲ 「医療DXなど 病院経営トピック」

講師 東日本税理士法人 代 表 社 員 長 英一郎
座長 医療法人社団景翠会 前 理 事 長 富田 春郎

特別講演Ⅳ 「2040年に向けた地域における医療提供のグランドデザイン
~地域と医療機関の類型化を通じた検討のポイント~」

講師 国際医療福祉大学大学院 教 授 石川・ベンジャミン・光一
座長 特定医療法人社団鵬友会 理 事 長 池島 秀明

特別講演Ⅴ 「医療機関を取り巻く課題と日本医師会の対応」

講師 公益社団法人日本医師会 会 長 松本 吉郎
座長 公益社団法人横浜市病院協会 会 長 松井 住仁



• シンポジウム 「我々はいかに医療危機と闘うか」

基調講演 「災害医療の最前線で ～BCM／BCP、DXそして地域のこれから～」

講師 社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 理事長 神野 正博

座長 日本医療法人協会神奈川県支部 支部長 新納 憲司

課題提起 「DXによる日常医療変革は災害時医療を救う」

講師 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 理事長 阿南 英明

座長 公益社団法人神奈川県病院協会 副会長 菅 泰博

課題提起 「医療法人に迫る複合的な危機」

講師 一般社団法人日本医療法人協会 会長代行 伊藤 伸一

座長 公益社団法人神奈川県病院協会 副会長 菅 泰博

意見交換

◆ 閉会式

次回開催地挨拶

日本医療法人協会三重県支部 支部長 河野 稔文

閉会挨拶

日本医療法人協会神奈川県支部 副支部長 宮川 政久



栄典**叙勲の榮譽を戴いて**

湘陽かしわ台病院 名誉院長
高原 和享

令和6年4月29日に瑞宝双光章を受賞させていただき、神奈川県病院協会吉田勝明会長をはじめ会員の皆様のご厚意に心から感謝申し上げます。

昭和62年に大学病院から医療の現場に身を置き、今日まで37年余りが過ぎたことを感慨深く思います。経営の経験も乏しく、医療の現場について不慣れなまま始まった私の医療人生は、皆様のおかげで何とか今日まで続けることができました。

特に、高齢化がますます進む地域において、地域医療の体制作り尽力し、多くの患者様と向き合い、その方々の笑顔が見られた時は、この仕事を選んで良かったと心から感じました。

当初は高座医師会、次いで大和高座病院協会にご指導いただき、地域医療について学びを深めました。神奈川県准看護師試験委員を拝命し、試験問題作成では考えを絞ることに苦労したことも、貴重な経験となりました。看護職員関連の委員会や医療勤務環境改善支援センター委員を務めさせていただいたことは、視野を広げる上で大変役に立ちました。

近年は、地域医療構想、東日本大震災からの災害医療体制、新型コロナウイルス感染症対策、医師の働き方改革など、地区病院協会会長として様々な問題・課題に直面しましたが、大和高座病院協会の皆様の協力や神奈川県病院協会からのご支援とご指導を賜り地域医療を守ることができました。

病院協会での活動を通じて、多くのことを学び、私自身の成長に繋がりました。今回の叙勲は、ひとえに皆様に支えられた賜物と深く感謝しております。

最後になりますが、神奈川県病院協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



藍綬褒章を受章して

神奈川県病院協会 理事
医療法人正永会 港北病院 理事長兼院長
山口 哲顕

この度、令和6年秋の褒章で「多年病院長として周到綿密よく職務を遂行したこと」について藍綬褒章を賜りました。11月26日にホテルニューオータニ芙蓉の間での褒章伝達式に続き皇居春秋の間で天皇陛下に拝謁してまいりました。

身に余る光栄であり、これも永年に渡ります先生方のご指導ご支援の賜物と御礼申し上げます。

昭和57年に日本医科大学を卒業し精神医学教室に入局、その後父が横浜市保土ヶ谷区で精神科の港北病院を開業していた関係で、昭和59年に横浜市立大学の精神医学教室に移りました。父が体調を崩したことから昭和63年に港北病院に戻り、平成15年より院長、父が他界した16年より理事長も併任しています。

医師会活動等としては平成7年に保土ヶ谷区医師会理事を仰せつかり、理事を12年、副会長を6年間務めた後平成25年より4年間会長、並びに横浜市医師会理事を務めさせていただきました。現在は神奈川県病院協会理事、神奈川県精神科病院協会会長、横浜市病院協会副会長、横浜市保土ヶ谷区医師会監事、神奈川県医師会代議員、日本精神神経学会代議員、日本精神科病院協会代議員等を務めております。

行政関連の業務としては昭和60年に横浜市保土ヶ谷区保健所非常勤医師（精神保健業務担当）を仰せつかって以降、神奈川県衛生部保健予防課非常勤技術嘱託、横浜市介護認定審査会委員、横浜市精神医療審査会委員、神奈川県精神医療審査会委員等を務め、現在は神奈川県精神科病院協会会長として神奈川県精神医療審議会会長、神奈川県医療審議会委員等を務めています。

これまで多くの先生方にお世話になり、種々の仕事をさせて頂くことにより社会人として、また医療人として成長し今の自分があると思っています。30歳前後だったと思いますが、母校の横浜支部の同窓会で林 隆一横浜市医師会副会長（当時）より、「(医療行政に対し)先生達が言いたいことは医師会は全て分かっている。先生達もっと勉強しなさい」と言われたことは今でも頭に残っています。横浜市医師会保土ヶ谷看護専門学校非常勤講師は、榊田 桂横浜市医師会会長（当時）より病院にお電話があり、父が電話に出ると、「あんたじゃない。息子だ」と言われたとのことで電話を代わった所、会長より「来週より私の代わりに精神衛生の講義をして下さい」と言われました。お断りすることなど出来るはずがなく、看護学校に打ち合わせのためあわてて飛んで行きました。翌年会長は亡くなら

れ、私が会長のお声をお聞きしたのはその時が最後でした。保土ヶ谷区医師会理事は高梨量三会長（当時）より「お父さんと2人でやっているのは先生の所位だから」と言われてお誘いを、また神奈川県精神科病院協会役員は竹内知夫副会長（現名誉会長）から、横浜市病院協会役員は吉田勝明常任理事（現神奈川県病院協会会長）からお電話を戴きました。

最近は永年診察をしている患者さんから「先生、長生きしてね」と言われる年齢となりました。自分の中でも「これまで十分働いたからもういいかな」と思う自分と「もう少しやれること、やらなければならないことがあるのではないかな」と思う自分の間での葛藤がありますが、まだ私がお役に立てるのでしたらもう少し先生方とお付き合いさせて戴ければ嬉しいと思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

随想



今後の医療を見据えて

川崎市病院協会 会長
 (神奈川県病院協会 常任理事、総合新川橋病院 理事長兼院長)
 内海 通

医療とは、人々の命と生活を支える重要な柱であることに昔も今も変わりありません。しかし、時代が進むにつれてその在り方は変化し、医療は日々複雑化し新たな課題と向き合い続けています。

私は病院の運営に携わる立場でこの変化を肌で感じながら、これからの医療がどのように進化していくべきかを模索しています。

高齢化社会と医療経営の現実

わが国では世界でも類を見ないスピードで高齢化が進んでおり、慢性疾患や加齢による身体機能の低下と向き合う患者さんが増え医療の需要も変化する等、病院が提供する医療にも大きな影響を与えています。

また、高齢化の進展により、治療のゴールも単に病気を治すだけでなく、患者さんがその後の生活をいかに快適に過ごすことができるかを考える生活の質（QOL）を意識した医療が求められています。

しかしながら、特に地方においては医師不足が深刻であり、医療資源の限界という側面も否めません。その一方で都市部では、プライベート、公的、公立とあらゆる病院が密集しており、急性期医療の多くの分野で、医療需要に対して医療資源過多が生じて、これが各病院の経営状況を悪化させる根本原因の一つになっています。

病院運営の視点から見ても、医療の未来には厳しい課題が山積しています。医療費の増大に伴う診療報酬の引き下げや医療機器の高騰、そして人件費の増加。経営を維持するためには、これまで以上に多くの努力と工夫が必要です。

私たちの病院でも、地域の皆様により安全・安心な医療を提供するため、診療科の強化や設備の更新に努めています。しかし、当然ながらその全てには資金が必要です。限られた予算の中にあっても最善を尽くすことはもちろん不可欠ですが、そうした厳しい環境下で地域医療を守り続けていくことの難しさと責任の重さに、頭を悩ませることもあります。それでも、患者さんからの「ありがとう」という言葉が、私たち医療従事者にとっては何よりの励みであり、日々の原動力となっています。

技術革新がもたらす希望

医療技術の進歩は、未来への希望を感じさせてくれるものです。人工知能（AI）の活用やロボット手術、再生医療の発展、新たな診断、治療法の出現。これらは患者さんの負担を軽減し、効率的な診療を可能にしますが、新技術の導入には多額の投資が必要であり、またそれを使いこなせる人材の育成も欠かせません。ただ、昨今の物価の高騰や人手不足がそうした医療の発展の妨げとなっていることが誰の目にも明らかであるにも関わらず、その解決策を積極的に見出だそうとしていない現状は非常にもどかしく、医療者の一人として苛立ちを感じずにはられません。

とは言え新しい医療技術を積極的に取り入れ、医療サービスの幅を広げて、新たな医療需要を開拓してゆく努力も重要であると思われます。

しかし、どれだけ技術が進歩しても、医療の本質は「人と人の繋がり」であり、いかに時代が移り変わろうとも患者さんの不安に寄り添い信頼を築くことが、今後も医療の根幹であり続けると信じています。

医療従事者の大切さ

医療は、現場で働く医療従事者によって支えられ成り立っています。近年のコロナ禍でも、医療従事者が過酷な環境で献身的に働く姿を世界中の方が目にされたことと思います。その一方で、彼らの疲弊や離職も深刻な問題です。

病院を運営する者として、スタッフが安心して働ける環境を整えることは最も優先すべき事項の一つです。過剰でない労働、十分な休息と報酬、メンタルケアの充実は、最終的に患者さんへの良質な医療提供に繋がるものです。スタッフ一人ひとりが仕事に誇りを持ち、自身の役割にやりがいを感じることでできる職場環境作りを推進していきたいと考えています。

未来への願い

これまで述べてきたように、現代の医療は多くの課題に直面していますが、もちろん希望はあります。それは、日々の診療や患者さんとの対話の中で感じるものです。患者さんの「この病院に来て良かった」「ぜひまたお願いします」という言葉に触れる度に、この仕事の意義を再確認することが出来ます。

医療がこれからも患者さんや地域社会にとって欠かせない存在であるために、医療の質を高めることに決して手を抜くことなく、且つ経営の課題にも向き合い続けたいと思います。医療の未来は、技術や制度だけでなく、我々医療従事者一人ひとりの努力と情熱によって創られるものだと信じ、これからも診療を続けて参りたいと思います。



私が尊敬する郷土の偉人

湘南病院協会 会長
 (藤沢湘南台病院 理事長)
 鈴木 紳一郎

私には、尊敬している湘南の地にゆかりのある歴史上の人物がいる。

その人は、平野 友輔（ひらの ともすけ、1857年〈安政4年〉1月9日～1928年〈昭和3年〉4月3日）と言って、日本の医師、政治家（衆議院議員）だった人である。相模国高座郡藤沢宿（のち神奈川県高座郡藤沢大坂町、現：藤沢市）で、薬種商の平野六三郎、ツル夫妻の長男として生まれ、読書院（後の耕余塾）に通い、小笠原東陽に漢学を学んだ。1875年（明治8年）10月に第十八大区小学校（現：藤沢市立藤沢小学校）の代用教員となる。1880年頃から自由民権運動に加わった。1883年（明治16年）8月に東京大学医学部別課を卒業し、1884年（明治17年）に神奈川県南多摩郡八王子に移住し医院を開業して、診療は午前のみで、午後には自由民権運動の活動を行った。八王子でキリスト教に入信した。

その後、1889年（明治22年）に郷里の藤沢に戻り医院を開業した。その一方、1901年（明治34年）に政界浄化のため三鶯舜太郎らと神奈川県公正倶楽部を設立し、1902年（明治35年）8月の第7回衆議院議員総選挙で神奈川県郡部から無所属で出馬して当選し、衆議院議員を一期務めた。女性権利の拡張を主張したことでも知られている。地元では、湘南中学校、藤沢小学校、明治小学校の校医や藤沢小学校後援会長などを務めた。

そして、1924年（大正13年）9月19日に藤沢駅落成祝賀会で祝辞を述べた後、脳溢血を起こし半身不随となり、約4年間の闘病生活を過ごして死去された。

さて、平野 友輔は、1868年が明治元年なので、その頃11才で、版籍奉還（1869年：明治2年）や廃藩置県（1871年：明治4年）が行われた頃でも12才～14才くらいだったのだろう。

帰郷して医院を藤沢に開業したのが1889年なので32才くらい、1902年（明治35年）に衆議院議員に当選したのが45才くらいと思われる。亡くなられたのが、1928年（昭和3年）なので71才ということは、昔の人にしては長生きだったのだろう。

ところで今年は2025年、平野 友輔が活躍されてから100年以上が経っている。平野が活躍した高座郡は、相模国に所属した郡で、元は綾瀬市、座間市、海老名市、大和市、相模原市の一部、茅ヶ崎市及び一部を除く藤沢市を含んでいたが、今は寒川町のみとなっている。

1889年（明治22年）に市制・町村制が施行されたことにより、いろいろな合併が繰り返され、1940年（昭和15年）に藤沢市と寒川町が発足、さらに1947年（昭和22年）に茅ヶ崎

市が発足して、現在の湘南東部医療圏の2市1町が生まれたわけである。

私は、1957年（昭和32年）生まれなので、平野 友輔とはちょうど100才違いの訳であるが、先駆的に地域医療の推進に奮闘した、この尊敬すべき人物が頑張った湘南の地で、私も今しばらく医療と医政に全力で取り組んでみたいと思っている。



業務上の転機となった出来事

公益社団法人神奈川県病院薬剤師会 会長
山田 裕之

平素は神奈川県病院薬剤師会の活動にご理解、ご協力を戴きまして、誠に有り難うございます。志の高い貴会活動へ病院医療を担う1団体として微力ながら協力出来ますことは、日頃から当会の活動の励みになっております。

さて、今回は自身の業務上の転機とその後の家族への影響に関して述べさせて戴きます。

毎年、貴会の呼びかけの下に病院勤務医療団体が集結し直近の課題を共有する、『神奈川県病院医療団体連絡協議会』が開催されます。本年度は医療職種管轄である神奈川県健康医療局職員の皆様も参加され、その中に医務担当部長として山崎元靖先生がいらっしゃいました。ご承知のように先生は2023年3月まで済生会横浜市東部病院で要職をお務めであり、神奈川においては、特に感染症対策ならびに災害医療チーム（DMAT）の指導的立場です。私は健康医療局へのご移動を認識しておりませんでしたので、会議終了後に急ぎ挨拶させて戴きました。

私が先生に初めてお会いしたのは2011年に発生した東日本大震災の時であり、当時勤務していた済生会系列病院職員として宮城県南三陸町へ医療救護班として派遣された際です。貴協会からの要請により発災後数日で現地入りした東部病院医療救護班ですが、災害状況から支援が長期に及ぶことが判明し、以降の支援は済生会神奈川県支部傘下5病院で行うこととなりました。14班に及んだ医療班の陣頭指揮を先生は一貫して行いましたが、私が参加した第9班から5病院混成メンバーであったためTeam Buildが容易か等、安全なチーム活動以外の心労があったとお察しします。しかし、私自身は先生からの事前指導もあり5日間の役割を無事に果たし、後の人生に大きく影響する掛け替えの無い経験をさせて戴きました。

当時の医療救護班第9班の活動を思い起こしますと、チーム編成はリーダーが救急科医師、サブリーダーが小児科医師、これに保健師、看護師と薬剤師の私を加えた5名でした。初顔合わせは出発数日前約2時間の事前学習でしたため、被災地到着後の業務開始時まではチーム内の会話は不自然でありました。しかし、現地での任務が開始されるとそこは各々専門職ですので水を得た魚のように行動し、その中の会話から自然と打ち解けるようになりました。私の任務は仮設診療所の処方調剤・服薬指導であり、加えて医薬品在庫管理における特に持参した以外の現地調達品の整理・集約でした。そして、現地活動2日目に発生した感染性胃腸炎家族内感染が、チームの結束を強固にしました。当日朝9時過ぎに仮設診療所を患者2名が受診し、1名は発熱と嘔気、もう1名は嘔気を呈していました。医師、看護師・保健師は2班に分かれ診療を進めようとしたのですが、このうち1名が高熱か

らか検温中に倒れたため、仮設診療受付を中断しました。医師は急ぎこの患者へ輸液投与を行おうとしましたが、現地には点滴スタンドがありません。そこで、薬剤師の私がスタンド代用となり点滴を高く持ち処置を開始し、患者もう1名を含む家族4名を部屋へ隔離し、その後処方薬服用を施しました。一方、感染兆候のない家族2名への聞き取りによって感染原因は被災地支援の炊き出しで食した焼肉の過熱不足が考えられたため、他の避難者も同様の状況を呈することが心配されました。この家族への診療・処置が落ち着いた後、医師・看護師1班は仮設診療所の診療を再開し、もう1班と薬剤師の私を加えた3名は避難所内トイレや手すり等の消毒を行い、感染拡大防止に注力しました。この一連の流れは、今考えても無駄のない行動であったと思います。こうして高まったチーム力は活動最終日まで保たれ、次チームへの引継ぎを終えました。そして、出発時に反して帰還の車内では疲労も吹き飛ばす程チーム内の会話が弾み、最終的には各々が日頃の悩みを打ち明ける程となり活動を終えました。

この被災地での医療救護活動経験は、薬剤師としての私の姿勢において他職種を尊重する、積極的に他職種をフォローする変化をもたらしました。それは、当時所属施設で参加していたNSTチームや褥瘡管理チームにおける職種の垣根を越えて作業を手伝う姿勢であり、また薬剤管理指導の付随内容における病棟看護師とのコミュニケーションの緊密化等です。この変化は他職種が私に感じていた印象もプラスへ転じ会話機会が増加し、薬剤師としての私の業務幅を拡げました。そして、このような様子が病院長へも伝わった結果として系列病院の薬局長として推薦され、医療救護班活動参加の1年後に系列病院薬局長として移動となりました。移動先は2年間の勤務でしたが、周辺他院に比べ数年遅れていた薬剤師業務の見直しや新たな取り組みを実施し、その実績から2名の薬剤師増員を認めて戴き、時代に合致した業務への立て直しの基礎固めを行いました。その後、現勤務先の横浜栄共済病院へ縁あって移動しましたが、移動直後に現在携わっている神奈川県病院薬剤師会理事へのお話を戴き、就任後の活動はもう直ぐ10年となります。

また、私には3人の子供がおりますが、東日本大震災発生時は小学校6年生、4年生、2年生でした。連日ニュースで報道される被災地の様子や大津波の映像は、特に上2人の子供にとって衝撃であったと考えますが、これに加え父親が被災地へ医療救護班として派遣されたことは、多感な2人に少なからず影響を与えたと思います。その後、この2人は同業である母親の勧めもあり大学は薬学部へ進学し薬剤師として病院へ入職しましたが、1人はDMAT資格を、もう1人は医療救護班員資格を取得し、現在2人共に災害医療関連業務に携わっております。震災という悲しい出来事がきっかけではありますが、このように医療救護班として派遣されたことは私の業務上の転機となり、そして家族にも影響を及ぼした大きな出来事です。

今回、山崎先生にお会いしたことで、震災当時から現在までを振り返る機会を戴きました。この業務上の転機を忘れずに今後も薬剤師として前進しようと、改めて感じた次第です。

結びとなりますが、公益社団法人神奈川県病院協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝ならびご活躍を、心より祈念申し上げます。



臨床工学技士法改正とタスク・シフト／シェア

公益社団法人神奈川県臨床工学技士会 会長
大石 竜

はじめに

臨床工学技士は、医学と工学の両分野の知識と技術を持つ医療機器のスペシャリストとして、1987年の「臨床工学技士法」の制定と共に誕生した。医師の指示のもとに生命維持管理装置（人工呼吸器、人工心肺装置、補助循環装置、血液浄化装置、全身麻酔装置、高気圧治療装置など）の操作および保守点検を行う医療機器に関する専門職である。医療機器の高度化が進む昨今では、医療機器への理解度や運用方法、保守管理の程度がそのまま医療の安全性に直結するようになった。医療機器はそれ自体が故障や動作不良などを起こす場合もあるが、事故は誤接続・誤調整・誤操作といった機器を取り扱う人間側の不具合で発生している事例が多い。そのため、2000年初頭に起きた医療機器の不適切な取り扱いに絡む医療事故が多発したことから、医療機関での医療機器に関わる安全確保のための法整備が進められた。2007年の医療法改正時には「医療機器安全管理責任者」の配置と業務が規定され、現在多くの医療機関ではその責任者に臨床工学技士が充てられている（2021年の調査で、全国の医療機関の71%）。また、近年のデジタル情報技術の発展に伴い、今後もより多くの新しい工学的医療機器の開発・普及・拡大が見込まれることから、それらに対応するために「臨床工学技士基本業務指針2010」が2010年に策定された。そこには、臨床工学技士が担うべき業務の一覧が示されているが、生命維持に関連する医療機器に携わる場面が、普段の業務の中で多くの割合を占めることが読み取れる。

さらに、2020年の新型コロナウイルス COVID-19の世界的な感染拡大により、重篤な肺炎患者への人工呼吸器や体外式膜型人工肺（ECMO）を用いた治療の実態が、各種メディア等から幾度も報道されたこともあり、これらの医療機器を駆使して治療に臨む臨床工学技士の存在やその活躍が、世間の耳目を集めている。

臨床工学技士へのタスク・シフト／シェア

「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアの推進に関する検討会」では、他職種へのタスク・シフト／シェアを推進するための要件として、

- ① 原則として各資格法の資格の定義とそれに付随する行為の範囲内であること。
- ② その職種が担っていた従来の業務の技術的基盤の上にある隣接業務であること。
- ③ 教育カリキュラムや卒後研修などによって安全性が担保できること。

の3つが挙げられている。これらの要件を踏まえ、臨床工学技士に対してもタスク・シフト／シェアに関する法令改正が進められてきた。その結果、2021年10月1日に改正臨床工学技士法が施行され、以下の業務が新たに追加された。

- ① 手術室又は集中治療室で生命維持管理装置を用いて行う治療における静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続、薬剤を投与するための当該輸液ポンプ又は当該シリンジポンプの操作並びに当該薬剤の投与が終了した後の抜針及び止血（輸液ポンプ又はシリンジポンプを静脈路に接続するために静脈路を確保する行為についても、「静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続」に含まれる。）
- ② 生命維持管理装置を用いて行う心臓又は血管に係るカテーテル治療における身体に電氣的刺激を負荷するための装置の操作
- ③ 手術室で生命維持管理装置を用いて行う鏡視下手術における体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラの保持及び手術野に対する視野を確保するための当該内視鏡用ビデオカメラの操作
- ④ 血液浄化装置の穿刺針その他の先端部の表在化された動脈若しくは表在静脈への接続又は表在化された動脈若しくは表在静脈からの除去。（従来の業務範囲であった「シャントへの接続又はシャントからの除去」に追加された。）

前述のタスク・シフト／シェアを推すための3つの要件に示されるように、今回移管される業務は、臨床工学技士としての従来の役割や技術の延長線上にあるものと考えられる。特に、改正前の法令では業務遂行の可否が明確に規定されておらず、一部の医療機関では独自の審査や院内研修に基づいて既に運用されていた業務もあった。そのため、今回の法改正によってそれらの業務が明確化された意義は大きい。これにより現役の臨床工学技士は、厚生労働大臣が指定する研修をすることによって、これらの新たな業務の実施が可能となる。

おわりに

医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアを実現するための法改正が、2021年10月に臨床工学技士法にも適用された。これまで医師による医療行為の一部が、様々な医療専門職によって代替されてきた。各医療専門職はそれぞれの専門性を軸に、量と質を担保しながら、これまで以上に機能的で充実した医療を患者に提供できるよう努めなければならない。特に、臨床工学技士においては、今回そして将来的にも進められるであろうタスク・シフト／シェアによる業務拡大を、常に適正かつ安全に実践していくことにより、国民からの一層の認知と信頼を確立することが期待される。



“おやじカンタービレ” …趣味の時間ですよ！

神奈川県病院協会 理事
(鎌倉病院 病院長)
三松 興道

先生ご趣味はなんですか？ 10年前なら迷わず ウインドサーフィン!! そう答えていた私です。なんせ良い風と、波を求めて千葉から鎌倉に移住、そのためだけに住居を海の近くに構え、定住した私ですから。駅近ならぬ海近2分。夏でも冬でも風、波がよければ、仕事前に朝練、仕事を早引けしては夕練に励み、まとまった休みがあればサイパンやハワイへ遠征に出かけていました。しかしさすがにこの歳ともなると、体力も衰え、本業に差し支えては大変、まして冬の海で遭難した日にゃ、残された家族、職員を路頭に迷わせることになる… などと自分に言い訳し、徐々に海から遠ざかる私でした。

さて愛車ハイエースにウインドの道具を一式積んで、身一つで出張人生、根室のオホーツク海、新潟上越港、霞ヶ浦、牛久沼、利根大堰、稲毛海岸、富津岬、諏訪湖、三浦海岸、そして現在の材木座海岸と数々のゲレンデを渡り歩いてきた私が鎌倉に流れ着き住居を構え再度スタートしたもう一つのことを、中学生～高校生の時にはまっていたオーディオ、レコード鑑賞。実家から押入れの隅に生き残っていたオーディオ機器（当時家庭教師のバイトで購入したマッキントッシュの超高級メインアンプ、パワーアンプの類は使い道がわからない父にデカくて邪魔だと捨てられていた！見た目、使い道のはっきりしているレコードプレーヤ、オープンリールデッキ等は無事）、LPレコードの類を救出し、足りない機材を買い足し、1日1作品を目標に観賞再開したのでした。それらと共に実家から救出したのが、亡き祖母が高校進学のお祝いに買ってくれた銀製のハンドメイドフルート。当時中学生の分際で世界的に有名な外科医となり、フルーティストとしてもデビューして大観衆の前で喝采を浴びるなどとアホな夢を見たことを思い出して一人赤面…。師事させていただいていた湊禎子先生に高校進学のだいぶ前に音大を目指すか医大を目指すかと決断を迫られ、医大を目指しますとお答えしたんだった。それならそれなりのレッスンにしますと宣言され、私の音楽家への道は途絶えたのでした…。随想書くなんて面倒なことをまた頼まれたと思っていたけど色々なことが走馬灯のように頭を回って、胸が熱くなるなあ！

実家を出た日から生き別れになっていて、思い出もしなかったフルートは私のオーディオルームの片隅に。手入れをしていないので錆びて黒く変色したフルートは、音楽鑑賞の傍らたまに吹いても長く放置していたためか機嫌を直してくれず、まったく鳴りません。あんた誰？今更何よってな感じ？

さて、時は“のだめカンタービレ”が大ブームの平成19年、娘は幼い頃からピアノ、ソルフェージュを習い、中学生になり学校では合唱でNコンを目指し、吹奏楽でオーボエ、鎌倉ジュニアオーケストラではファゴットを担当、ピアノではピティナのコンクールを目指す、と音楽三昧な日々（最終的には娘も私と同じ整形外科医になったのだけどもね!）、LPレコードを聴きながら、大活躍の娘を目の当たりにしてふつふつと湧き起こる感情は、また先生について真剣に音楽をやってみたい。できれば人前で演奏できるようになりたいという思いでした。そして娘のソルフェージュの先生（実は大変ご高名な太田彌生先生）にご紹介いただき、大野明子先生による個人レッスンが始まったのでありました。初めはこの曲とこの曲ぐらいが吹ければいいかな、などというスタンスでお邪魔したのですが、なんでも吹けるようになりたければ回り道でも基礎からやり直したほうが良いとの方針で基礎練習の教本を与えられました。何事も1000時間も練習すればものになるとのことで、初めの1年間は1日3時間近く練習！学会の出張でも地元の貸しスタジオを手配して楽器を持っていきました。

あれから17年、その甲斐あってか、その後はメキメキと実力をつけ？（言いすぎていたら太田、大野両先生あとで叱ってください。）紆余曲折あるも幾多の本番、ステージの修羅場を乗り越え、現在では医療・福祉・介護職の仲間とバンド“鎌倉メディカルアンサンブル”を結成、大野先生には楽器の指導、太田先生にはアンサンブルの指導をお願いしつつ、病院でのサロンコンサート、老人施設、子供食堂、地域食堂、教会でのチャリティーコンサートなど、数多くの発表の機会を得るなど、順調に演奏活動に励んでいます。めでたし、めでたし。鎌倉メディカルアンサンブルの結成からコロナ禍を経て、現在に至る物語は、いつかまた違う機会に

病院でのコンサートの様子はこちら





当院における医師時間外労働上限規制への対応について

横須賀市立うわまち病院 事務次長

高野 昇平

2024年4月医師の時間外労働上限規制が開始されました。今回は、当院における医師時間外労働上限規制への対応について述べさせていただきます。

初めに2019年4月の働き方改革以前の取組についてです。まず2003年頃より救急総合診療部の部門立ち上げに合わせて当番医制を導入、小児科は2008年の小児医療センター立ち上げに合わせて複数主治医制の導入から始まり、2009年4月医師短時間正職員制度の導入、2011年7月救急外来従事医師に交代制勤務を導入、2018年2月当直明け勤務の解消等を行ってきました。また、その他職員も含めた就業環境改善の取組事例として、24時間365日受け入れ可能な院内保育所の設置、病児・病後児保育、学童保育等を設置しています。

次に、2022年4月に厚労省により「医療機関の医師の労働時間短縮の取組の評価に関するガイドライン」が策定された以後についてです。2022年5月頃からガイドラインの評価項目に対する自己評価を実施、未達項目への対応を検討し、2022年10月に兼業許可に関する内規の策定、労働時間、休憩、休日及び休暇規程の一部改定（勤務間インターバル、代償休息、時間外労働と自己研鑽に関する項目を追加）、2022年12月に勤務医の時間外労働上限規制における当院の目指す基準を「A水準」と決定しました。この決定にあたっては、県内の多くの医療機関においては「A水準」での適用を目指しているとの情報もあり、主にリクルートについて今後、B、C水準の病院では医師（特に専攻医など）の採用が困難になるのではないかと危惧したこと等を含め、総合的に判断しました。

次に、2024年4月医師の時間外労働上限規制開始以後についてです。院内の方針として、毎月の超過勤務時間実績をタイムリーに把握し、早期に対策を講ずることとしました。A水準適用対応の対策フローとしては、

- ① 毎月15日に月40時間を超える対象医師を総務課給与係にて確認
- ② 所属長及び対象医師へ報告、必要に応じて所属長は対策を講じる
- ③ 毎月末日にアラート基準として月60時間を超える対象医師を総務課給与係にて確認
- ④ 所属長及び対象医師へ報告
- ⑤ 面談指導実施医師および所属長より対象医師へ面談実施、月60時間を超える時間分の代替休暇取得の意向等を確認し、代替休暇の取得を促す
- ⑥ 毎月の労働安全衛生委員会にて前月の月60時間超え医師および面談実施状況を報告
- ⑦ 上半期実績が480時間を超えた医師に対し、病院管理者および特別対策チーム（面接

指導実施医師、所属長、看護部長、事務部長等)による面談指導等の対策を講じる、としています。

月の超過勤務時間が60時間を超えた対象医師への対応例ですが、月60時間を超えた時間数を4時間あたり半日の代替休暇として換算し、当該医師と面談を行ったうえで代替休暇の取得を促します。多忙な医師は特に代替休暇の取得が困難と回答されることが多いため、この医師に対しては代替休暇を取得できるよう所属長に勤務調整を行っていただくほか、労働安全衛生委員会や幹部会議等にて現状把握をタイムリーに行い、所属長でも対応が困難な場合などは病院として対策を検討するなどの体制を構築しています。

そのような中、2024年度の診療報酬改定において、「ICUや救命救急センター等における当該専任の医師は、宿日直を行う医師ではないこと」とされました。当院はICU、救命救急センターを有しており、経過措置もないことから、その対応については早急に院内で検討を重ねました。検討の結果、当院はICUと救命救急センターにおいては、当直時間帯（17時00分から翌8時45分）を「時間外勤務（7時間15分）+深夜勤（8時間30分）」の併用で対応することとなりましたが、この勤務1回ごとに時間外勤務7時間15分が加算されることから、より時間外勤務の管理が必要となりました。

最後に、今後の課題について3つ述べさせていただきます。今まで当院では働き方改革に対応する諸規程や制度を様々整備してきましたが、実際に運用する中で、それが想定通りにいかないこともあり、まだまだ課題が多いのが現状です。

まず課題の1つ目が、時間外勤務・自己研鑽の管理です。半月ごとのタイムリーな勤怠実績を把握するには、各医師による日々の確実な勤怠実績入力、所属長による実態把握、部下とのコミュニケーション向上が必要と考えます。

2つ目が、兼業の管理です。申請・許可制として管理し、時間外の兼業時間の把握に努める必要があります。

3つ目が、病院全体で「A水準」を維持するための取組の実行です。具体的な取組事例としては、

- ・ 上限時間超過の可能性のある医師への面談継続や代替休暇の取得を推進すること
- ・ 交代制勤務の範囲拡大検討（当直時間帯「時間外+深夜勤」の一部を「準夜勤+深夜勤」とする等）
- ・ チーム医療、タスクシフト／シェアの推進
- ・ 現在30対1である医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担軽減を図ること
- ・ DX、IT化の更なる推進として
 - (1) Microsoft 365の教育・活用、Teamsによる委員会等開催（ペーパーレス、web）、業務効率化、
 - (2) PocketChart（電カル向けモバイルソリューション）、AmiVoice（音声認識ソフト）、CLINICS（オンライン診療）の活用

(3) 勤怠管理システムの運用（1分単位）、人事給与クラウドシステムの活用 等を推進していきます。

また、実際に超過勤務命令を出す所属長医師による勤怠管理意識の向上が必要と考えますので、定期的に事務部門による研修会の開催なども企画していきたいと考えています。

今後も様々な法改正や改定等があると思います。そのような場合においても、その都度病院全体として様々な意見を出し合いながら最善の方法を検討し、時代に合った対策を講じていきたいと考えております。



勤め人の思い出と、これから ～ 不如楽之者 ～

神奈川県病院協会 前事務局長

木村 博嗣

子曰、「知之者、不如好之者。好之者、不如楽之者。」

昨年末、いわゆる「勤め人」から退いた。振り返れば1979年から45年間。そこで、少し、自分の「嗜好」を書き記しておくことをお許しいただきたい。

冒頭の一文は、「論語」雍也第六18)だ。私は「雍也論語」どころか、儒教の素養のカケラすら持ち合わせてはいない。しかし、いくつかのフレーズをととても気に入っており、これもその一つだ。書き下しは「之を知る者、之を好む者に如かず。之を好む者、之を楽しむ者に如かず」。「楽」がキーワードなのかもしれない。論語では、長年の間に文脈は風化して実体は窺い知れない言葉も多い。「之」は、何にでもあてはめられるが、仕事に擬えられていることが多い。

はて、自分は、45年間、仕事に直面してどうしていただろう。好き嫌いで選ぶことができないのは当然である。結果的に振り返ってみれば、困難な仕事で、様々な課題をクリアしてやり遂げたときの喜びを大切にしてきたと思う。近似値では「達成感」ということになるが、言葉ではとても表せない「独特のもの」だ。労を惜しまない。むしろ注力するほど「高い報酬」を得られるのだから、ついつい全力を傾けてしまう。思えば寝食の時間を忘れるほど給料には見合わない仕事をさんざんやってきた。途中では、苦しさや、悔しさで涙することもあり、後悔することもある。すべてが成功するわけではない。大きな挫折を味わったことも数知れず。しかし、新たな「獲物」を見つけると、猟犬のように反応してしまう性分は治らない。もはや「精神的麻薬」だ。退職直前の大仕事、第39回全国医療法人経営セミナーでは、おかげさまで最高の「ハイ」を味わった。結局、勤め人としては、最後までこの「麻薬」の妖しい力に侵されていたのかもしれない。

さて、「麻薬」が切れた後、禁断症状が起きないように、次の「之」をどうするか。

子曰、「知者楽水、仁者乐山。知者動、仁者静、知者楽、仁者寿。」(雍也第六21)

書き下し文 子曰わく、知者は水を楽しみ、仁者は山を楽しむ。知者は動き、仁者は静かなり。知者は楽しみ、仁者は寿(いのちなが)し。

水も山も大好きだ。どうせ大人しく静かにはしてられない中毒者だ。世界各国、日本全国、旅をして回ろう。「知」と「仁」。私は儒者ではないので、気にしない。どちらも欲張って楽しみたい。「想像」は時空を超えることができるが、現物に触れることで、何倍にも豊かに湧き上がる。この会報が発刊される頃はエジプトを旅していると思う。帰国後

は、北陸3県を訪れる予定だ。

また、コロナのことは50周年記念誌に書かせていただいたが、あのダイヤモンド・プリンセス号で、クルーズの旅をしてみたいとも思っている。

一方、写真や映像としては既に何度も見たことがあったとしても、いずれ、実地で必ず訪れたいと思うところも多々ある。まず年明け、1月7日、寒風吹きすさぶ花園ラグビー場へ。テレビでは何度も見ていたが、実は初めての「聖地花園」体験。第104回全国高校ラグビー決勝戦で、母校が目の前で勝利し優勝する姿を堪能できた。実は1971年、ずいぶん大昔の話だが、真夏の甲子園で、私は在校生の立場で、初の全国優勝に立ち会ってもある。その場にいた者だけが味わえる感動は「独特なもの」だ。

最後に、少し昔の話の一つさせていただく。

2011年4月19日、私は保健福祉総務室長（当時の職名は企画調整課長）。課員二人とともに日産自動車から無償貸与された車を駆って、まだ、関係車両しか通行が認められていない、波打つ東北道を一関インターまで北上した。そこから、東進、気仙沼市から、瓦礫の中、海岸線を伝い、釜石市・大槌町へ向かった。途中、そこかしこで筆舌に尽くしがたい光景を目の当たりにする。車を、本県の保健師チーム・心のケアチームのもとに届けることと、被災者から臨時運転員を募集し、面接して、選考採用するためだったが、釜石のハローワークは立錐の余地がないほど込み合っていて、その中をかき分けて進むと人々の切迫感がヒシヒシと迫ってくるのだった。釜石は桜が咲き始めていたが、ずっと冷たい雪が降っていた。あの日の重くて冷たい空気感の記憶が今でも体から、抜けないのだ。瓦礫と化した街の画像がテレビで流れるたびに、目頭が熱くなる。

かの地を訪れることが、カタルシスになるかどうかはわからない。未だに抱えているのは巡礼者の希念に近いものかもしれない。それを少しでも鎮められるかわからないが、あの14年前の道を再びたどろうと思っている。



2025.1.7 花園ラグビー場にて筆者



2011.4.19 陸前高田市役所前にて



2011.4.20筆者撮影 岩手県三陸鉄道線大槌付近

寄稿



—かながわ地域看護師 養成普及事業について—

神奈川県病院協会 副会長
(汐田総合病院 顧問)
窪倉 孝道

2025年問題と言われる少子高齢化の時代の一区切りとなる年を迎えました。これまでの間、地域医療構想の目標達成や地域包括ケアの体制整備が全県的に取り組まれてきました。高齢化の進行で将来の医療需要が大きく変化し、これまでの医療の柱であった高度急性期・急性期の需要が、高齢者救急や回復期・慢性期医療へシフトしつつ、これらを支える地域包括ケアシステムの構築も進んできています。

こうした病院を取り囲む変化について、かつて小生は「高齢化で変わる医療・介護の風景と地域病院の役割」と題して地区病院協会報に随想を寄稿したことがありました（文献1）。その中で、更に遡ること数年前に週刊東洋経済誌に掲載された「医学部受験生への伝言」と題する興味深い記事を紹介し、『地域医療構想の時代を向えると、これまでの医師の王道であった高度急性期や急性期の道が狭き門となり、回復期の需要が増す。回復期の医師に派手さはないが、患者のQOLを高めるため急性期病院や介護事業者、自治体との連携をマネジメントし、患者や家族に寄り添う人間力が求められる。社会が求める医師像は時代によって変わる（一部筆者意識）』との記載を引用させていただきました。寄稿では、目を看護師の世界に転じて、社会のニーズは地域医療構想と地域包括ケアの時代にふさわしい、地域を知り、地域の医療介護資源を縦横に活用でき、多職種協働の力を備えた総合力のある「地域看護師」が求められているのではと問題提起し、その養成に必要な看護師キャリア支援は未だ整備されている状況にはないことを指摘しました。

実は、こうした問題提起をした背景には、神奈川県病院協会が事務局を担う神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会（以下、実習病院連絡協議会）での「地域看護師」に関する真剣な議論がありました。この議論は、『効率的かつ質の高い医療提供体制を構築する（地域医療構想）とともに地域包括ケアシステムを構築することを通じ、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進する」として』医療介護総合確保推進法を受けて、看護管理者や病院長有志による強い問題意識から始まりました。法案で打ち出されたような地域医療構想や地域包括ケアを実現するには、急性期医療に従事する多くの看護師が、地域の実情に即した再配置を求められ、増加する高齢者のニーズにふさわしい総合的な技術や知識を求められることとなります。こうした再整備や再配置を診療報酬改定への対応として行う

だけでなく、地域の主体的な取り組みとして行う事業が求められるのではないかと議論されたのです。また、看護職を取り巻く状況には、中核病院では新人看護師の離職や中堅看護師の疲弊、中小病院では新卒看護師の確保の困難、介護分野では看護職全般の人材難と高齢化などが深刻化しており、医療から介護へ、病院から在宅への流れを阻害しかねない看護人材配置の偏在や不足が存在しているのではないかと実感されていました。

こうした問題意識を実習病院連絡協議会の適正化部会を中心に、2019年から議論を開始し、部会ワーキンググループによる「地域看護師養成・確保アンケート」を実施。それを基にした研修・交流会の開催や県への要望などによって、2021年には、神奈川県医療人材担当部署との合同による「神奈川県地域看護師養成事業検討会」の設置につなげることができました。ここで地域看護師の定義や養成普及事業の内容・実施スケジュールなどが深められました。その結果、事業は「かながわ地域看護師養成普及事業」として案内され、2023年には事業実施の指針となる「かながわ地域看護師養成ガイド（文献2）」が完成したのです。

さらに、これらの取り組みの最大の成果は、2024年から始まった第8次保健医療計画の中に、この「かながわ地域看護師」が位置づけられたことです。そこでは、『第4章 地域包括システムの推進のところでは、在宅医療提供体制の充実のために、訪問看護の安定的な充実に向けて、…、更には第5章 医療従事者の確保・養成のところでは、看護職員の離職防止等の定着促進策として、…施設間連携や多職種連携に強く、幅広い領域に対応可能な「かながわ地域看護師」を地域で育成することについて検討を進めます』と明記されました。地域医療構想・地域包括ケアの時代にあっては、患者が病期により施設を移動しながら治療・療養をしてゆくためには、どこの病院・施設にもまんべんなく看護師がいなければ患者のフローが滞ってしまうでしょう。看護師不足は個別施設の問題だけではなく、地域の問題として受け止める必要があるのです。各病院が個々に看護師確保に奮闘するだけではなく、看護師のライフステージや能力、適正にふさわしいキャリアパスを地域全体で描き、提示し、それらの中から選択してもらえるように人材確保の視点からも連携を強めること、そうすることで看護師が地域から流出することなく貢献し続けてもらえるように努力すべき時代が来ているのではないかと思います。病院団体としても認識を深めなくてはいけない点です。

最後に、私の病院がある横浜市東部地域での経験を書いて、地域看護師育成のイメージを伝えることができればと思います。当院は鶴見区を中心に二つの急性期一般病床を持ちつつも、一つの回復期リハビリテーション病棟、三つの地域包括ケア病棟を展開し、主に回復期に軸足を置いた医療を展開しています。1キロ圏内に済生会横浜市東部病院（以下、東部病院）があり、高度急性期中心の医療を展開しているため、地域医療構想以前より日常的な連携強化が両病院の共通課題としてありました。

そうした時、当院が看護師不足でおよそ病棟一つ分の病床稼働ができない状況が生まれ、一方の東部病院では、同時期に転院先確保が困難で救急応需に支障をきたしていることが

区内病院の連絡会で明らかになりました。これらの状況を両病院の管理者間で率直に共有し合うことによって、東部病院から当院への看護師支援で休床状態の当院病床を有効稼働させ、東部病院から当院への転院受け入れを増やし、結果として東部病院での救急受け入れを改善して地域医療の困難を解消する方策が検討されました。いくつかの障害があったものの、「方策」は双方の努力で現実のものとなりました。看護師の人材支援を核にして地域医療を好転させた経験は、両病院間での大きな財産となり、人材支援が人材交流の視点に変わってゆく契機となりました。そして、人材交流の流れを続けることによって、看護師が互いの病院の特性を学びながら継続看護の実際を体験し、新しいキャリアを積むことができるプログラムが発展的に検討されてゆきました。そういう取り組みの中で、地域からの看護師流出を少しでも防ぐことも期待されていたのです。

今では、自施設に在籍しながら出向する形の循環型プログラムと、新人看護師が就職時からあらかじめ配属先を決めた形で、5年間両院の多様な場での研修ができる養成型プログラム（文献3）とに発展しています。地域で看護師を育てるこうしたプログラムに関する情報提供を看護学校にも行い、協力を依頼する取り組みも開始されています。折しも、看護学生教育の分野では、少子高齢化や地域包括ケア時代にふさわしい看護師育成のためのカリキュラム改定が行われ、この分野でも「かながわ地域看護師」育成の機運が醸成されてきていると感じています。

目下、かながわ地域看護師養成事業は済生会横浜市東部病院—汐田総合病院間から済生会横浜市東部病院—紫雲会横浜病院間、横須賀共済病院—三浦市立病院間、伊勢原協同病院—秦野厚生病院間、神奈川リハビリテーション病院—厚木佐藤病院間へと広がり、聖マリアンナ医科大学病院—麻生総合病院間でも、具体的検討が始まっています。

県下の中小病院と日常的に連携する地域医療支援病院（地域の中核病院）が懐深く起点となり、地域連携強化にもつなげることが実利的で、成功のカギとされます。

これまででも、実習病院連絡協議会が主体となり、神奈川県看護師等養成機関連絡協議会や神奈川県看護部長会、神奈川県医療人材担当部署などと協力してこの事業の普及啓発を行ってきましたが、今後は神奈川県病院協会や神奈川県看護協会などにも理解を広げて、後押しいただきたいと思っています。皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

なお、令和7年度から「かながわ地域看護師養成事業」は神奈川県の補助金対象事業となることが期待されています。

文献1：高齢化で変わる医療・介護の風景と地域病院の役割：横浜市病院協会報 2021年10月 第67号、P15-16

文献2：かながわ地域看護師養成ガイド（神奈川県HP）

文献3：看護師の教育とフォローアップ—これからの人材養成のかたち—地域全体で看護師を育てる：小児看護 2022年8月 第45巻第8号 P964-970



プロジェクトX –挑戦者たち–

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 病院長
原口 直樹

2000年から2005年まで、NHKでプロジェクトX –挑戦者たち–という番組が放送されていた。様々なプロジェクト、難題に対して全力で取り組んだ人々に焦点をあて、ドキュメンタリー調で再現、当事者に話を聞く番組であったが、視聴率が高くご存知ない方はないだろう。私がアメリカに留学していた当時、現地でも視聴できた。留学先で当初まったく研究成果のあがらない私にとって、異国の地で見るこの番組にはひどく勇気づけられ、また中島みゆきの歌声は心にしみた。

今年からこの番組が18年ぶりに再開された。内容は、東日本大震災、ダイヤモンドプリンセス号集団感染、新型コロナパンデミック、能登半島の地震と豪雨、ホテルニュージャパンの大火災など、災害に関するものが多い。ダイヤモンドプリンセス号の回では、DMATの活躍に焦点が当てられ、阿南英明先生が出演されていた。

個人的には地下鉄サリン事件での警視庁科学捜査研究所の活躍の話は興味深く、自分の体験を思い出した。1995年当時私は東京警察病院に勤務していたが、医師として4年目のかけだしであった。毒ガスを使うその教団が一体何をしようとしているのかという、えもいわれぬ空気に日本がつつまれているある日、山梨県内の教団の武器工場と目される施設へ強制捜査に向かう機動隊に帯同する医師が必要、という話になった。その日手術や外来がなく、病棟業務担当であった私が必然的に指名されることとなった。出動・捜査自体が秘密裏に計画されていたのか、家族以外に他言無用ということであった。その日は自宅には帰れず、「お前とメシを食うのもこれが最後かな」などという上司の悪い冗談を聞きながら皆で食事をした。私には当時身重の妻がおり、まったく笑えない話であった。

当直室に泊まり、早朝3時に病院に迎えにきた機動隊の車両に、救急カート、解毒剤PAMとともに乗った。防毒マスクの使用法の説明をされ相当な覚悟で現地に入ったが、幸い出番はなく、車両内で機動隊員と話をしたり、弁当を食べたりしていた。

捜査の終盤に入ったところで、多くのマスコミが現場近くまで入ってきた。報道規制してもいいのではないかと担当の隊員に話したところ、「大学闘争で、国民を敵にまわしてしまった苦い経験を教訓にしているんですよ」と話していたことが、妙に印象に残っている。

病院に戻ると、「先生、本当にご苦労様でした！本日の手当です」と言いながら現れた事務長に茶封筒を差し出された。正直、かなり期待したのだが、そこに入っていたのは現

金2000円であった……。私の命の値段は2000円なのか、とかなりがっかりしたことを覚えている。しかし今では国家の危機にわずかながら役にたてことを誇りに感じ、時々子供たちや知人に話したりしている。

またプロジェクトXを視聴するのが楽しみである。全国の病院でその経営に難しい舵取りをせまられている昨今、それぞれの病院でそれぞれの「収支改善プロジェクトX」が展開されているのではないだろうか。



「がんロコモ」知っていますか？

横浜市立みなと赤十字病院 院長
大川 淳

2007年に日本整形外科学会が提唱したロコモティブシンドロームは、整形外科医でなくてもなんとなくご存じの方も多いかもかもしれません。身体機能の低下により自立的な運動機能が低下する状態ですが、この状態が進むとフレイルを招いて健康寿命に影響すると理解されています。つまり、ロコモはフレイルよりも若年から現れるので、フレイル予防には壮年期から対策が必要ということです。

それに加えて、日本整形外科学会は2018年に「がんロコモ」なる考え方を提唱しました。ごく単純に言えば、がん患者がロコモになる状態を指しますが、その原因としては、①骨転移などによるがんそれ自体の問題、②がんの治療による二次的な筋力低下や骨粗鬆症などの問題、③がんと併存する加齢に基づく運動疾患の進行、などが考えられています。2016年に年間に発生するがん患者数が100万人を超えて、出生数より多くなりました。がんの罹患率は2022年には男性65.5%、女性51.2%であり、すでに高齢者の半数はがんを罹患する時代といわれています。がん患者の5年生存率は、2007年に49%であったものが、2022年には64.1%と急速に伸長し、もはやがんが致死の病ではなく、common disease化したともいえるでしょう。それだけにがんを罹患したことだけで休職したり、辞職したりすることもなくなり、がん治療と同時に身体機能を落とさないためのがんリハも保険適応になったということかと思えます。

この考え方をさらに一般的にするうえでの第1関門は、整形外科医ががん患者に対して正面から向き合えるかです。もとより整形外科を志向する若手医師は、生命にかかわらない傷病に興味を持つ人が多い傾向があります。一方、高齢者のcommon diseaseとなったがんに対して積極的な整形外科治療を行うべきという考え方が「がんロコモ」です。整形外科の学会や関連雑誌においても、がんロコモのシンポジウムや特集が多く組まれるようになっていますが、一般整形外科とはまだ距離があるのが実際でしょう。私自身は脊椎外科医を志した40年近く前から、がんの脊椎転移による急性麻痺に対して緊急手術を積極的に行ってきました。余命数か月という短い予後予測であっても、急に発生する下肢麻痺や疼痛を和らげる可能性があれば手術適応はあると考えていました。当時は脊椎インプラントの黎明期であり、手術も姑息的なものにすぎませんでしたが、麻痺発生から24時間以内に除圧できればまた歩行できることが多いと信じて、昼夜を問わず緊急手術に対応していました。

その後、脊椎転移がんに対しても放射線治療や骨セメントを用いたIVR、骨修飾薬などさまざまな治療モダリティーが進歩し、ある程度の転移制御が可能になってきました。がん口コモでは、そこでもう一步進んで、がん患者の運動機能をできるだけ本来的な状態のまま維持しようということです。四肢の関節や脊椎の強い痛みは、すべて骨転移が原因と短絡してはいけません。その原因は必ずしも骨転移ではなく、使われた薬物に誘発された骨粗鬆症による骨折や単に加齢的な疾患によることも少なくありません。そうしたがん患者の痛みや運動機能障害に対して、整形外科医が積極的に関与して病態を正確に診断し、適切な治療を提供する時代になりました。また、大きな骨転移巣であっても放射線治療だけでなく、髄内釘手術や腫瘍用人工関節などの手術治療による対処も可能になってきました。もちろん、骨転移がある時点でステージIVの末期がんですが、生命が尽きるまでの痛みの軽減や身体機能維持を目的とした手術も厭わないという考え方です。これまでは骨軟部腫瘍専門医が主として対処してきましたが、年間100万人のがん患者のうち20%の20万人発生する骨転移に対して、一般整形外科医が関与する機運が高まりつつあります。

このがん口コモ普及の、次の関門は患者と整形外科に送る側のがん診療医の意識だと思っています。骨転移と見れば単純にオピオイドを増量すればよい時代は終わりました。いまの脊椎外科では複数椎体の転移巣があっても手術は可能ですし、椎体骨折でも骨セメント充填と経皮的スクリューの組み合わせなど低侵襲治療が適応できることが増えました。メカニカルな安定性を手術によって確保してから、放射線治療を追加することで、長期予後も期待できるようになってきています。

骨転移を持つがん患者にとって、残された人生における身体活動性が維持できることの意義は少なくありません。同時に、一般整形外科医であっても、痛みの原因ががんの転移か、二次的な骨粗鬆症か、はたまた加齢性の疾患に起因するものかを判断することは必須となったわけです。それぞれの病態に応じて最適の治療の方向性を探ることで、整形外科医もがん患者の身体機能を維持に関与できることを、患者を整形外科に送るがん診療医にも知っていただきたいと考える次第です。



梅根性

独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央院長
 病院長 川田 望

2023年4月からJCHO横浜中央病院で院長を務めている川田望と申します。

周囲から漬けても煮ても焼いても酸っぱさが変わらない、しぶとい性格「梅根性」だとよく言われます。

高校時代は天文部に所属し、夏は海岸の砂浜でペルセウス座流星群の撮影にのめりこんでいました。35mmのカメラを4台据え付け、その中心部にレコードのフォノモーターに羽根を付けて天文部員が交代して撮影しました。何十本ものフィルムのなかにやっと見つけた流星の姿。出現時刻を記録と照らし併せてペルセウス座流星群に間違いのないことを確認しました。画面を斜めに突っ切る、はかない光を放つ流星、フォノモーターにつけられた羽根で途切れ途切れの点線状の物体、それを丁寧に焼いて当時の天文雑誌に学校名で祈るような気持ちで投稿しました。約1年後にお目当ての雑誌に掲載されました、感極まりコーラで乾杯したことをおぼえています。

さて日本大学に進み桜も満開の春には、部活の勧誘が言葉巧みに誘われます。「君は星が好きなんだって。夏合宿に行けば高い山から星空が眺められるよ。」この甘い言葉に騙されて文化部ワンダーフォーゲル部に入部しました。日大では、当時運動部の山岳部と文集を刊行する文化部のそれに分かれていました。春の新入生歓迎合宿で、とんでもないクラブに入ったことを後悔しました。しかし山の装備にかけたお金のことを考えると「辞めます」なんて言えませんでした。春から初夏に移り、合宿の厳しさの度合いは増します。奥多摩、丹沢へ団体装備、個人装備、さらに使いもしない薪を一束、計40Kgの荷物を背負って、20Kmのコースを進みます。丹沢、塔ノ岳のバカ尾根で知られる大倉尾根、そして丹沢山。ここまでは元気でした。水は制限され2回の昼食で配給される紅茶だけ、背中には水で満たされた4リットルのポリタンクがあるのに、シャツに滴った自分の汗を吸い取って自給自足の行程でした。当時は水を飲むと「ばてる」という言い伝えがまかり通っていた時代でした。最後の三峰を通過する頃は踏ん張りが効かず、下りはコロコロで転びながら、暗闇迫る今では湖底に沈む宮ヶ瀬にやっとの思いで到着しました。

翌朝、「今度こそ辞めてやる。」この言葉を伝えたくてへろへろで大学に向かい、装備を返却します。部室では普段は鬼のような先輩達が、満面の笑みを浮かべて、「昨日はよく頑張った。これなら夏合宿も大丈夫だ。」

またまた、この言葉に騙されて東北、朝日連峰に性懲りもなく向かいます。藪をかき分

けてテントを張る場所をつくり、水ははるか下の沢まで降りなくてははいけません。踏み後も定かでなく、無事に下山できるのか。そんな不安がよぎる中、草藪に見つけた白と赤のキャンディーの包み紙、「こんなところにも人が通るんだ。」どれだけ安心したことか。星はどうしたか、残念ながら消灯はまだ明るい午後6時、起床は午前2時、体操しながら西に傾く天の川を眠い目をこすり眺めていました。星を落ち着いて見ることはできませんでしたが、日本一美味しいといわれる金玉水（きんぎょくすい）のテント場から眺める雪渓と主峰・大朝日岳の眺めは脳裏に焼き付いています。1週間の合宿、汗水流して経験した東北の山々の壮大な景色、朝焼けが脳裏に焼き付いています。私の長女はその山の名前です。一時はやめると覚悟した部活でしたが、卒業するまで寝ても覚めても山のことばかり。結局、北は利尻富士から南は屋久島まで登りました。

さて、山ばかり登っていた私も医者になる時期となりました。研修制度のない当時は直接入局です。これは覚悟を決めました。実習で回った時「君みたいバカは見たことがない」といわれた泌尿器科です。ここなら面倒見もよさそうだし、要領の悪い私でもなんとか一人前になるのではないかと甘い期待を胸に入局いたしました。当時は月月火水木金金の1週間でした。夜間に救急患者が当直医の都合に関係なく、容赦なく搬送されます。上級医の指導の下診断し、手術の準備が始まります。血液検査は医師が自前で行います。夜間検査室で血液型、血液一般検査を行いました。診断の結果、腎外傷が疑われるので、開腹手術の準備が始まります。後腹膜は血種で満たされ輸血が必要と判明、輸血室で血液交差試験、クームスの検査を学生実習さながらに行います。すると上級医から輸血室に催促の電話はいります。適合試験の結果は輸血室に残さなくてはなりません。試験の終わった血液製剤を携えて手術室に駆け込みます。医師、麻酔科そして看護師のスタッフの安堵した顔が忘れられません。休む間もなく、手洗いして鉤引き、ときには看護師として機械出しにはいります。上級医師から厳しい指導のもとスタッフとして加わることができて、緊急手術も無事終わります。欠伸する間もなく術後管理にはいり、気づいたら夜明けを迎えていました。

そして病棟の処置、当時の点滴は留置針ではなく、抜き差しの点滴でした。そしてガーゼの包交を終えて、外来に向かって教授の陪席につきます。早速、術後のデータと様子を聞かれます。即座に答えないと朝から落雷でした。いつご飯を食べたんだか、顔を洗ったんだか、さぞかし汗臭かったのではないのでしょうか。慣れてくると、主だった数値を頭に叩き込み陪席につきます。術後の状況を伝えると、教授のにこやかな顔、「コーヒーでも飲んできなさい。」と促され、その時は仏さまに見えました。下働きを重ねると、ある日、腎外傷の症例の執刀の許可をいただきます。手術の序盤である後腹膜まで展開の許可をいただきます。これは舞い上がるほどうれしかったことを覚えています。罵声を浴びることなくゲロタ筋膜まで到達し、上級医に交代しました。

さて、ここまで書いてきて思い返します。当時はなにが楽しくて働いたのでしょうか。もともとふくよかだった私の体はみるみる痩せて、当時の下級生から心配されたそうです。

2年目には、元の体に戻り、さぞかし下級生も安心したことでしょう。当時の報酬はほとんどなく、食事は医局にいれば何とかかなりました。しかしながら術後の患者さんが離床も進み食事もとれるようになり、時折我々に見せる笑顔、そして「ありがとう。」の一言、この言葉でそれまでの苦労はどこかに吹き飛んでしまいました。患者さんのからの一言で生きながらえた、そんなことを思い返す今日この頃です。今までかけていただいた「ありがとう」の言葉を忘れないように、頑固にしぶとく感謝を忘れない「梅根性」で医師の本領を発揮し続けたいと思います。



仕事と子育て

医療法人裕徳会 よこはま港南台地域包括ケア病院
総合診療医 廣見 優美

今回、神奈川県病院協会会報第55号への寄稿のお話をいただいてから、何を書こうかとずっと悩んでおりました。その中、私は、昨年9月に当院に転職し、約4ヶ月が経ちましたことから、今の職場のことと、子育てについてお話させていただこうと思います。

皆さんは、「地域包括ケア病院」を聞いたことがあるでしょうか？

地域包括ケア病棟は知ってる方も多いと思いますが、当院は100%地域包括ケア病棟に特化した病院になります。いわゆる急性期の治療を終えて、在宅復帰を目指し、リハビリや在宅環境を調整します。

またそれだけではなく、訪問診療を行ったり、レスパイト入院などにも対応しています。

私は今まで急性期病院で働くことが多く、治療を終えたあとの患者さんがそのあとどうなっているのかということあまり目にしたことがありませんでした。

また、急性期病院は病状の変化も早く、毎日が慌ただしく過ぎてゆくため、一人一人の患者さんとゆっくり話したり、それこそ雑談したりする時間はほとんどなかったように思います。

当院に入院されている患者さんのほとんどは、病態が安定している方であり、回診時に現在の状態を確認するだけでなく、雑談することも多く、またリハビリの様子なども病棟でみることができ、患者さんとの距離は、過去に勤務していた急性期病院の頃より近いように感じます。急性期病院では、治療メインでしたが当院では患者さんの生活背景や家族環境などを含めて診ていくため、今までとは違ったやりがいがあり、とても新鮮に感じています。

話は変わりますが、私には今、一歳になる息子がいます。子供が産まれるまでは、医師として、当直もやっていたし、仕事柄体力もある方なので、育児に関しても大丈夫だろうと思っていましたが、実際には全くの間違いでした。夜中は2～3時間ごとに起こされ、日中も私が何かをやりたくても子供に泣かれ、ヘトヘトになりながら数ヶ月を過ごし、毎日が当直のような状態でした。最近、ようやく落ち着いてきたと思ったら、出産後もう1年が経っており、この1年は、今までで一番早く過ぎた1年だったように思います。

また、子供の成長は早いもので、小さな息子が、日々自分でできることが増えていく様子を見る事は、楽しみである一方、少し寂しくも感じています。

女性医師の中には、出産を機に仕事を退職されてしまう方もおられると思いますが、私

は仕事を続けていて良かったと思っています。毎日の生活にメリハリができますし、何よりも、仕事終わりに急いで保育園に迎えに行ったときの息子の嬉しそうな顔を見ることは、私にとって、毎日の至福の時となっています。

ただ、やはり小さい子供はしょっちゅう熱を出したり、体調不良で保育園から呼ばれることも多く、仕事が残っていても早退せざるを得ないことが多々あると思います。そのようなときに、周囲の医師・スタッフがカバーできるような体制が整っていることは、出産後の女性医師が仕事を続けていく上で、大変重要だと感じています。ありがたいことに現在の職場では、そのような環境にも恵まれ、仕事と子育ての両立もできているように思います。

医師の働き方改革も話題になっております。女性医師にとりまして、これからも子育て世代が働きやすい職場が増えていくといいなと思う次第です。





復活するか「外科医にあらずんば 医者にあらず」

神奈川県病院協会 常任理事
(クローバーホスピタル 理事長)
篠原 裕希

明けましておめでとうございます。

昨年は数々の課題を吉田会長のリーダーシップのもと見事に乗り越えました。今年もよろしく願いいたします。

戦後80年、敗戦から昨年までの病院関係の事案を時系列にまとめてみました。

西 暦	トピックス	世 相
①1946年	憲法第22条 職業選択の自由	戦後の混乱期 1947年の平均寿命 男性50才、女性53才
②1948年	医師法第19条 応召義務	
③1963年	救急搬送業務法制度化	1964年 東京オリンピック
④1977年	一次二次三次救急制度	高度経済成長始まる ジャパンアズナンバーワン (エズラ・ヴォーゲル)
⑤1993年	療養型病床群	1991年 バブル崩壊 1995年 阪神淡路大震災
⑥2000年	回復期リハビリ病棟 介護保険制度	20世紀最後の年
⑦2004年	新医師臨床研修制度 マッチング制度	新潟中越大地震
⑧2014年	地域医療構想 地域包括ケア病棟	2011年 東日本大震災
⑨2024年	医師の働き方改革 地域医療構想25	2024年 能登半島地震

10年～15年周期で病院にとって大きな変革が訪れており、人生50年から100年を見据える時代になり必然的に発生する「高齢者の急増」、「現役世代の急減」が始まっています。それに伴い病院の役割も「職場復帰」から「在宅復帰」にシフトする意識が必要になります。

①②は既に80年経過、③④にしても半世紀前の憲法や法律による制度なので時代に合わなくなってきており、①～⑨の実行が病院機能維持のためにはマストとなります。

最大の課題は、医師の偏在です。この件にはようやく国も動き出しましたが、踏み込みに物足りなさを感じます。ポイントは2つあり、地域による偏在と診療科目による偏在です。前者は、2004年の新医師臨床研修制度とマッチング制度の影響で、大学の重要な役割であった医師派遣機能が削がれてしまいました。一方、強大になり過ぎた大学の権限を抑えるという意味も理解はできますが、、それ以外の理由として、労働環境、教育環境（特に子育て世代）、家族の反対等々。後者は、憲法第22条（前者にも関係するが）職業選択の自由と医師の働き方改革が大きく関わってきます。医師不足の診療科、すなわち研修医、医学生が希望しない1位2位が外科と救急科です。「3ない科」というWordsをご存じですか？「当直、救急、がん」がない科という意味です。

2024年6月19日、『モーニングショー』というテレビ番組で衝撃の話題「この20年で深刻な外科医不足、手術待ちに外科閉鎖も」、「手術を受けたくても受けられず、中には手術待ちになったケースも」が放映されました。これまでも産科医、小児科医不足が報道されてはいましたが、外科医不足のインパクトはもっと大きく、全国紙でも取り上げられるようになりました。その理由は、#1生涯労働時間が短い、#2勤務時間が長い、#3給与が勤務量に見合わない、#4医療訴訟のリスクが大きい。#1については後述しますが、#2#3は民間病院個々での対応になりそうです。#4については他の診療科でも当然あります。

医学生の間では外科イコール「新3K」キツイ・危険・カッコ悪い（又は汚い）だそうです。実際1980年代までは医学部1学年100人として、20～30人は外科に入局していましたが、現在は10人以下、10年後には3/4、20年後には1/2と予想されているのです。特に消化器外科と心臓外科は絶滅危惧種だそうです。

「3ない科」のもう一方の雄、救急科の理由は単純で救急や当直そのものをやりたくないのです。医師の働き方改革の影響で救急医が30～40%不足するとされており、救急医療提供体制にも綻びが出始めています。

1970～1980年代の外科医局生活を思い返していると『白い巨塔』に思い当たり、DVDを買いに走りました。山崎豊子の会心作で1960年代の大阪大学医学部消化器外科医局が舞台。主役の田宮二郎扮する財前五郎助教授（現在は准教授）は、噴門部胃癌のスペシャリストで教授を目指す野心家でもある。半世紀以上前の映画ですが、田宮のド迫力・圧巻の演技はまさに外科医全盛期を彷彿とさせるものでした。僕が外科医を志したのはこの映画の影響が大きかったです。

<早朝カンファレンスと教授回診>

僕は昭和大学出身ですが就職先は当時のA-C bypass第一人者、瀬在幸安教授の日本大学第二外科を選択しました。毎週のカンファレンスには、助教授（現在は准教授）以下の

全医師・ポリクリを含め総勢50名以上が参加、朝7時からの外国文献抄読会、ICU・手術報告等々。終了後に教授回診です。外来担当医を除く総員で集団異動、回診前に総婦長(現在は総師長)がマイクで「只今から瀬在教授の総回診が始まります」と放送。受け持ち医、受け持ち看護師は部屋の前で直立不動、他科の医師達は「二外の回診凄いな」と驚いていました。僕たち下級生も「虎の威を借る狐」で病院内を肩で風を切って歩いて「外科医にあらざれば医者にあらず」を実感していました。

<当直の話>

2年生の頃、今の医師の働き方改革とは真逆の世界で、1ヶ月20日以上当直は日常茶飯事でした。内訳は、大学ルーチン当直4~5日、ICU術後当直4~5日、病棟の重症当直(随時)、アルバイト先での当直、4~5日+土日1回、先輩からの頼まれ当直(断れない)。

<外科で良かったこと>

1. 友人の輪が広がった

受け持ち入院患者に他科の疾病が見つかった時(眼科、皮膚科、耳鼻科が多かった)など、積極的に向かって飲み会の約束をしました。またオペ室では他科、特に麻酔科医師との人脈形成は病院開設時に随分と助けられました。

2. 患者とのコミュニケーション能力が向上した

5~6年生になると手術の術前術後のICUさらにICUでの状況を家族に電話で説明するようになります。相手にわかりやすく、笑顔になってもらえるような説明の仕方が自然と身に着きました。

3. レストランや飛行機で利用客の急変に手を挙げられる

ICUでの術後管理や救急病院での経験が大きいです。ある時アメリカからの帰国機内で乗客急変のドクターコールがあり、僕と中国人男性医師が手挙して急行、患者は中年アメリカ人女性、CPA。通路に寝かせて聴診器とライト以外何の器材もない中、衆人監視も構わず中国人男性医師と交代でCPR約1時間実施するも回復せず、'pass away' 宣告。

最後に、外科医は「生涯労働時間が短い」とされていますが、超高齢社会において求められる医師像は、複数の疾病を抱えているそれも重症でない患者を診ることができる総合診療医vです。それに一番近いのが外科医と救急医だと考えます。セカンドキャリアとして是非とも力をお貸しください。



昔の手術風景、左側手前が筆者

会員病院・賛助会員紹介

入 会

神奈川中央病院

新 築 等

京浜総合病院
ゆめが丘総合病院

賛助会員紹介

(入会順に順次掲載します)

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
神奈川県医療福祉企業年金基金
株式会社アイネット
株式会社日本教育クリエイト
東洋羽毛首都圏販売株式会社
株式会社イントラスト
株式会社第一食品
日揮株式会社
リタワークス株式会社
株式会社エコ医療クリーン
株式会社ドコモビジネスソリューションズ 神奈川支店

会員病院のご紹介 (2024年7月・入会)

～ 人と地域に寄り添う医療を目指して ～

神奈川中央病院



病院長 能登 雅明

病院概要

- 所在地 〒243-0804 厚木市関口812-5
- 電話番号 046-204-2111 (代表)
- 診療科目 精神科、内科
- 病床数 180床 [各フロア60床 (うち個室4部屋、4床室14部屋)]
- 施設基準 認知症治療病棟入院料
- 院内検査 CT (16列マルチスライス)、レントゲン、血液検査、心電図、超音波検査
神経心理検査 (HDS-R, MMSE, MoCA-J, FAB)

ご挨拶

神奈川中央病院は認知症の診断と治療に特化した精神科の認知症専門病院として2017年に開院致しました。

高齢社会が進む中、今年、2025年には認知症高齢者が471万6千人になると推計されています。認知症という病気は単身での生活管理が困難になることから、患者さん本人ができないことが増えて苦しい思いをするだけでなく、介護や行動心理症状などによって患者さんを支える周囲の方々も巻き込まざるを得なくなってしまう、ということが多々あります。

当院は認知症の方と、その方を支える周囲の方々双方の気持ちに寄り添い、共に穏やかに過ごすことができるような医療の提供を目指しています。

認知症の方は身体疾患を併発していることが多く、精神科病院であっても一定の対応はできるよう努めてはおりますが、高度な内科的治療、外科治療については地域の救急病院の先生方に日頃より大変お世話になっております。当院では地域医療連携を重視し、当院から転院された患者さんの早期受け入れはもちろんのこと、高齢者の救急搬送が増えている中で急性期の身体治療が終了した認知症の患者さんの受け入れにも力を入れ、在宅や介護施設などへの橋渡しができるように努めております。

在宅や介護施設で過ごされる認知症の方には、行動心理症状のために切迫した状況となっている方も多くいらっしゃいますので、認知症を専門に診る病院として、なるべく早くお受け入れできるように務め、認知症になられた方とその方を支える周囲の方々の気持ちに寄り添いながら、日々地域の認知症医療のお役に

立てるよう邁進して参ります。

基本理念・基本方針

神奈川中央病院は、認知症をもつ人、また医療・ケアに携わる人の、人としての価値を尊ぶ病院運営をめざします。

- ・認知症をもつ人に対して、尊敬すること、思いやること、共感すること、共にあることを基本とした医療とケアを行います。
- ・認知症をもつ人が一人の人として受け入れられ、尊重されるかかわりを実践します。
- ・認知症をもつ人のそれぞれの人となりと歴史を理解したかかわりを実践します。
- ・認知症をもつ人の人としての権利を擁護します。
- ・認知症をもつ人が地域社会で生活することを支える医療を展開します。

施設案内



ダイルーム



生活機能回復訓練室



ナースステーション



病室(4人部屋)

アクセス



会員病院のご紹介 (2023年12月・新築移転)

～ 良質で満足度の高い医療を提供し、地域医療に貢献する ～

京浜総合病院



病院概要

- 所在地 川崎市中原区新城1-2-2
- 病床数 140床 (療養病床84床、一般病床56床)
- 診療科目 内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、放射線科

ご挨拶

京浜総合病院は川崎市中原区内の基幹病院、及び京浜メディカルグループの中核的存在として、一般診療・救急医療・予防医学・健康診断など広範囲にわたる医療活動を展開する総合病院として機能してまいりました。

令和5年12月には令和3年より実施してきた工事を経て念願の新病院が開院致しました。旧病院は昭和41年に開設されて以来、現病院で50年を超えて地域の医療ニーズに対応してまいりましたが、ようやく老朽化や医療環境の変化に対応するための機能改善を図ることができるようになります。

新病院は、これまで通り地域の様々な患者様が受診しやすい「かかりつけ病院」として多くの疾患に対応しながら、大学病院や地域基幹病院の後方支援を受けながらより専門的な医療への連携を担う役割を果たしてまいります。また、当該医療圏において供給が不足していた療養病床を新たに配置することで、医療依存度が高い長期入院が必要な患者様に対して介護事業者等との連携のもとに地域包括ケアの一翼を担っていきたいと考えております。さらには、東日本大震災の後、新たな巨大地震発生リスクが報じられておりますが、災害時における一拠点として地域社会への貢献を果たしていきたいと考えております。

最後になりますが、理念に基づく良質で満足度の高い医療を提供していくため、それらを支える医療スタッフの確保・育成や、安定した経営基盤づくりにも取り組んでまいり所存でございますので、引き続き多くの皆さまのご支援とお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



院長 岩崎 浩

医療法人社団 鵬友会 ゆめが丘総合病院



病院概要 ●●●●●

- 所在地：神奈川県横浜市泉区ゆめが丘30番地1
- 病床数：156床
(HCU 8床、感染症対応病室 4床、1人個室16床、2人個室 4床)
- 診療科目：一般内科/脳神経内科/消化器内科/循環器内科/呼吸器内科/血液内科/内分泌内科/一般外科/消化器外科/末梢血管外来/下肢静脈瘤むくみ外来/呼吸器外科/脳神経外科整形外科/泌尿器科/形成外科/精神科/皮膚科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科



理事長
池島 秀明

ご挨拶 ●●●●●

昨年4月に相鉄いずみ野線ゆめが丘駅前に「ゆめが丘総合病院」を開院しました。当院は、横浜市南西部の医療機能不足を解消するため、急性期機能を中心に地域住民に安心・安全を提供することを目指しています。診療科は27科、HCU 8床を含めた156の病床を有して診療を行っています。また紹介医療機関の皆様からの診療・各種検査の紹介をスムーズに行うために、新たに法人内の病院・施設のワンストップ窓口として鵬友会地域連携室を設置いたしました。

救急医療については、横浜市から二次救急拠点病院Bに指定され、24時間365日対応しています。地域の医療機関と連携し、より適切な救急医療を提供するための病病連携システム構築を行っております。

また、健診プラザも開設し、日曜日の健診やICTを活用した予約・結果通知など、地域住民の利便性を重視したサービスを提供いたします。

医療法人社団鵬友会は、横浜市および静岡県富士宮市で医療・介護・福祉に貢献しており、今後も地域全体の医療の質向上に貢献する所存です。スタッフ一同、地域医療に尽力して参りますので、引き続きご指導ご支援をお願い申し上げます。



病院長
末盛 彰一

基本理念



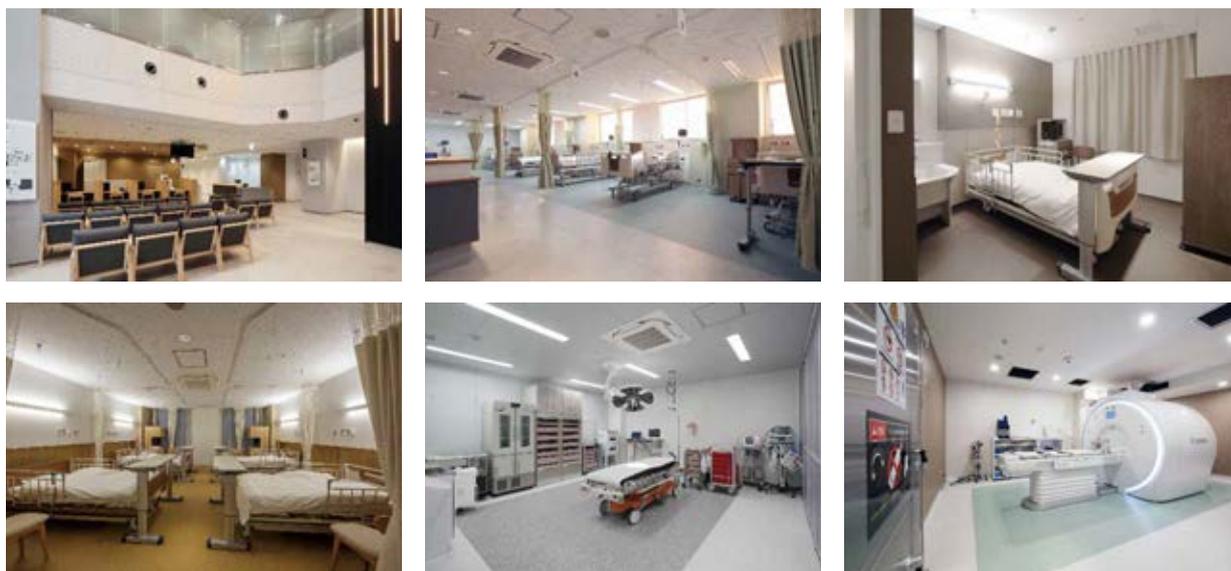
理解と調和、そして信頼と危機管理に基づいた心温まる医療を提供します。

地域の医療機関や関係機関と連携し、地域全体の医療・福祉の発展に貢献します。

基本方針

- ・患者様にご理解いただけるよう十分な説明を心がけ、思いやりのある安全で良質なチーム医療を提供します。
- ・常に最新の医療技術と知識を取り入れ、質の高い医療の提供に努めます。そのために、職員教育の充実を図ります。
- ・周辺の医療機関との連携を図る中で救急医療の充実に貢献するとともに、健診や予防医療の充実により地域の健康促進に寄与します。
- ・職員の健康と福祉に配慮し、働きがいのある職場環境づくりに努めます。
- ・良質な医療を持続的に提供するため、健全な経営を目指します。

院内の様子



法人沿革

1981年 『阿久和病院』（現：湘南泉病院）開設
 1983年 『医療法人社団 鵬友会』認可
 1986年 『新中川病院』開設
 1992年 『阿久和病院』を『湘南泉病院』へ改名
 1997年 『ほうゆう訪問看護ステーション』開設
 1998年 『湘南泉病院』救急指定病院 認可
 1999年 『ほうゆう介護支援事業所』開設
 2001年 『横浜ほうゆう病院』開設

2010年 『本郷クリニック』開設
 2015年 『横浜保育室ほうゆう』を認可保育園へ移行し『ほうゆう保育園』とする
 2017年 医療法人社団富士恵仁会と合併し、3施設1事業所が加わる
 2024年 『湘南泉病院』を休止し『ゆめが丘総合病院』開設

賛助会員のご紹介 (2023年8月・入会)

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

ご挨拶

住民参加と様々な主体の協働による 誰もが尊重され安心して生活できる地域づくりの推進
～地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進～

本会は、社会福祉法に規定された「地域福祉の推進を図ることを目的」とする民間団体として、地域住民をはじめ、ボランティア活動、社会福祉法人・施設、社会福祉協議会、企業など、地域の多様な主体が参加・協働し、一人ひとりが尊重され、人と人との関係を結び、自分らしく生きることができる地域づくりを目指し、活動しています。

今後とも皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

法人概要

- 法人名：社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
- 会長名：篠原正治
- 所在地：〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2 神奈川県社会福祉センター7階
- 設立：昭和26年4月（社会福祉法人設立登記 昭和27年4月）

活動推進の柱

本会では、次の4つの推進の柱に基づき事業を実施しています。

また、様々な社会状況の変化や社会福祉の現場で活動している関係者の声を施策に反映することを目的に、政策提言活動にも力を入れて取り組んでいます。

1. 地域での支えあいの推進
 - 多様な主体と進める地域福祉活動の推進
 - 自立した生活を地域で支える取り組みの推進
 - 災害福祉支援活動の推進
2. 福祉サービスの充実
 - 社会福祉法人・施設の活動促進
 - 利用者の権利擁護
3. 福祉人材の確保・育成・定着の推進
 - 福祉人材の確保
 - 福祉事業従事者の育成
4. 県社協活動基盤の充実
 - 課題共有の促進と提言
 - 組織・活動基盤の整備

事業の詳細については、
本会各種ホームページを
ご参照ください。



本会ホームページ
<https://www.knsyk.jp/>



かながわボランティアセンター
<https://knvc.jp/>



かながわ福祉人材センター
<https://www.kfjc.jp/>

神奈川県医療福祉企業年金基金



概要

- 名称 神奈川県医療福祉企業年金基金
- 所在地 〒231-0015 横浜市中区尾上町1-6-7F
- 電話番号 045-222-0450 FAX番号 045-662-2484
- 代表者 理事長 新納 憲司
- 加入者数 9,237人
- 資産額 85億2千万円



理事長 新納 憲司

ご挨拶

神奈川県医療福祉企業年金基金は、昭和61年4月に設立しました神奈川県医療福祉厚生年金基金の後継制度として、平成29年5月1日付けで厚生労働大臣より代行返上の認可を受け、独自の給付を行う企業年金基金として設立しました。

企業年金基金は退職金制度の一つで、国の年金に上乘せして受けられる、もう一つの年金制度です。

ご承知のとおり、公的年金は、少子高齢化の影響により、給付水準の引下げ、保険料の引上げ、支給開始年齢の引上げなど、今後、さらにスリム化することが考えられます。

このような状況の中、公的年金を補完する老後の生活保障として、企業年金基金の役割はさらに重要になってきております。

当基金は、これからも加入者の皆さまの老後の所得保障の充実と福祉の向上を目的に、末永く継続できるように事業運営に努力してまいります。

賛助会員のご紹介 (2023年12月・入会)

inet 株式会社 アイネット



法人概要

- 会社名：株式会社アイネット I-NET Corp.
- 本社：〒220-0012 横浜市西区みなとみらい5-1-2 横浜シンフォステージ ウエストタワー13階
- TEL：045-682-0800 (代表)
- 設立：1971年4月22日
- 代表者：代表取締役兼社長執行役員 佐伯 友道
- 資本金：3,203,992千円
- 上場市場：東京証券取引所プライム市場 (証券コード：9600)
- 従業員数：連結 1,774名 単独 1,013名 (2024年4月1日現在)

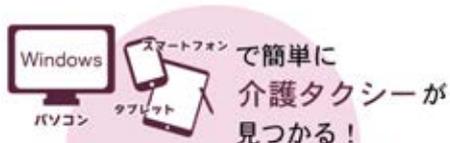


アイネット HP

ご挨拶

神奈川県で設立して54年。国内最高レベルの安全性を備えた自社データセンターと長年培ったシステムの運用管理を基盤に、システムの企画・開発から運用・監視、印刷・封入封緘、さらには先進のクラウドコンピューティングに至るまで、お客様の様々なニーズに最適なソリューションをワンストップで提供しております。

病院向けサービス



i-CareGO

神奈川県内病院利用数 40 以上 !!

AI 技術を駆使して病院のあらゆる
サイバー脅威 に対応

DARKTRACE

全国の病院に多数導入 !!

賛助会員のご紹介 (2024年4月・入会)



株式会社日本教育クリエイト



会社概要

- 代表者／代表取締役 鳥居 聡
- 所在地／東京都新宿区新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト7F
- 連絡先／03-5909-1509 (代表)
- 派遣登録者数／326,700名
- ホームページ／<https://www.nk-create.co.jp>
- 運営求人サイト／医療事務求人ドットコム <https://ijiwork.com>
介護求人ドットコム <https://creatework.jp>

ご挨拶

医療・福祉に特化した人材派遣・人材紹介・業務委託事業や、定着や離職抑制に繋げる研修事業、医療事務・初任者研修をはじめとする生涯学習事業を行っています。長年培ってきたノウハウを活かし、高い専門性だけではなく、人を思いやる豊かな人間性が求められるそれぞれの業界へ、人材を輩出し続けています。

医療機関・福祉施設のお困りごとを希望に変えるべく、人を育て、繋げ、定着を支援する。一貫したサービスで支援します。

- 事業概要／人材サービス事業・研修事業・生涯学習事業
- 事業所／東京・神奈川・さいたま・船橋・札幌・仙台・高崎・名古屋・大阪・福岡・沖縄

東洋羽毛首都圏販売株式会社

国内自社工場で守り続ける創業品質

良質な羽毛原料を見極めて輸入し、独自の精製工程「HARUO工程」により高品質な「HARUO DOWN」を生み出します。そして、「HARUO DOWN」を包み込むふとん生地の縫製、羽毛の充填までの全工程を、国内自社工場の管理のもと、責任を持って行っています。その姿勢は創業以来変わりません。各工程専門の技術者が、一枚一枚丁寧に製造にあたり、ふんわりあたたかく、世界に誇れる羽毛製品を皆様に提供しています。



HARUO DOWN

GOOD DESIGN



HARUO DOWN

法人概要

- ・東洋羽毛首都圏販売株式会社 横浜営業所
- ・神奈川県横浜市旭区今宿西町1952-1
- ・代表取締役 永岩 謙一

ご挨拶

私たちは創業以来「高品質なものづくり」を経営哲学のひとつとして掲げ、羽毛寝具を皆様にお届けしております。

質の良い睡眠をとるには良い寝具が大切で、優れた品質の羽毛や生地はもちろんのこと、寝具へのたゆまぬ研究と開発、製造に携わる社員の技術向上が「高品質なものづくり」を支えております。

これからも「健康貢献企業」として質の良い睡眠をお客様にお届けするとともに、環境に配慮した製品・技術・サービス・企業活動を通じて皆様の健康に寄与してまいります。



私たちは、働く皆様に
「快適な眠り」で支えます。

水と、空気と、睡眠と。

TUK 東洋羽毛

東洋羽毛について
詳しくはこちらをご覧ください



株式会社イントラスト



法人概要 ●●●●●

株式会社イントラスト (東京証券取引所スタンダード市場 (7191))

- 設 立：2006年3月
- 事業内容：保証事業およびソリューション事業
- 所 在 地：東京都千代田区麹町1-4 半蔵門ファーストビル2F
- 代 表 者：桑原 豊

ご挨拶 ●●●●●

私たちイントラストは、賃貸不動産業界における連帯保証人代行システムの構築を目指し、2006年に誕生しました。家賃債務保証を皮切りに、医療や介護、養育費といった分野へもノウハウを展開し、現在は「総合保証サービス会社」として皆さまの暮らしに役立つさまざまな商品を生み出しています。

2015年に開発・提供を始めた医療費用保証については、医療業界にはじめて保証サービスを提供したリーディングカンパニーとして、現在では公的・民間問わず多くの医療機関に保証サービスをご提供しております。

医療機関における様々な課題の一つに、「未収金」や「連帯保証人」、またそれらの業務に携わるスタッフの方々の「就労環境改善」「残業時間削減・効率化」が挙げられます。これらを抜本的に解決するべく、弊社が提供をするサービスが「連帯保証人代行制度」であります。導入医療機関からは「未収金が減った」「入院受付がとてもスムーズになった」「一番ストレスの掛かる業務が削減された」「キャッシュフローが改善された」等のお声を頂いております。

また、別の視点では「患者さまへのサービス向上」というご評価を頂きます。特に現代は高齢化が進み、令和19年には国民の3人に1人が65歳以上になると見込まれています(令和6年版高齢社会白書)。ご家族が遠方、心配を掛けたくない、連帯保証人を頼める人がいない等、どのような方でも安心して医療が受けられる環境を提供できるよう、また医療機関の持続可能な経営のために今後も保証サービスを提供させていただきます。

賛助会員のご紹介 (2024年5月・入会)



厨房運営のお悩みはございませんか？

- ✓ コストを見直したい
- ✓ 人手不足で現場が安定しない
- ✓ 厨房設備が老朽化している
- ✓ 委託費の高騰
- ✓ 委託会社が急に撤退しないか不安

そんなお悩みを…
ワールドビジネスサテライトで取り上げられた
 人手不足の救世主「完全院外調理」で解決！



社名	株式会社第一食品 (DAIICHIFOODSCORPORATION)	
代表	代表取締役社長 小宮仁	
設立	1972年(昭和47年)10月23日	
事業内容	病院、その他福祉施設の給食 給食業務に関するコンサルティング	
拠点	本社工場	大阪府東大阪市高井田本通4丁目1番5号
	相模原工場	神奈川県相模原市中央区田名3113-9
	大阪工場	大阪府大阪市生野区巽中2丁目3番6号
	西宮工場	兵庫県西宮市山口町阪神流通センター1丁目69
	岡山工場	岡山県岡山市南区藤田261-8

人手不足や材料費の高騰により、給食の安定供給が危ぶまれておりますが、第一食品はその解決策として「完全院外調理®」をご提案いたします。調理済み・盛り付け済み・洗浄不要で配膳車ごとお届けする為、厨房運営のストレスを大幅に軽減することができます。
 皆様のお役に立てるよう、これからも全力で取り組んでまいります。



お問い合わせ・ご試食の希望は

tel **042-785-2836**

Mail suishin@dfcn.co.jp HP <https://www.dfcn.co.jp>

賛助会員のご紹介 (2024年9月・入会)

日揮株式会社



JGC 日揮株式会社

ひとも、まちも、すこやかに



日揮グループは、プラント設備の設計・調達・建設・メンテナンスを行う「総合エンジニアリング事業」を主要事業とし、1928年の設立以降、国内のみならず世界80カ国にわたって20,000件以上のプロジェクトを遂行してきました。その遂行力は世界でも高く評価されています。

日揮グループがパーパスに掲げる“Enhancing planetary health”には、「人と地球」の健康は密接に関係しており、この2つを追求していくことで、豊かな未来を創っていく」という思いが込められています。主力分野として、エネルギーの安定供給と脱炭素化を両立するエネルギートランジションのほか、医薬・医療を通じて人の健康に貢献するヘルスケア・ライフサイエンス事業などに携わっています。

日揮は、病院の建設においても、経営・運営計画、施設の計画・設計・建設、医療機器の購入、情報インフラの構築、環境・防災計画、移転計画など相互に関連する多くの事柄を一元的に調整・管理し、プロジェクトを遂行します。プロジェクトの最初から最後まで一貫した思想で全体を統括する総合的なプロジェクトマネジメントで、お客様の理念や目標の実現を目指します。

日揮は、今日まで病院運営に直接関わるなど、病院・医療分野における豊富な経験を有しています。これらの知見を活かして、医療従事者、患者、地域社会などにとって最適なソリューションを提案し、お客様の良き協働者として、社会の期待に応える病院の建設へ挑戦します。

法人概要

- 会社名：日揮株式会社
- 本社：〒220-6001 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1 Tel：045-682-1111（代表）
- 代表者：代表取締役 社長執行役員 山口 康春
- 担当部門：インダストリーソリューション本部 ヘルスケアソリューション部
- 部門URL：<https://jgc-healthcare.com>（『日揮 病院建替え』で検索）

リタワークス株式会社

ミラホス
mirahos

法人概要

- 社名 リタワークス株式会社
RITAWORKS Inc.
- 代表者名 代表取締役 塚本 誠
- 設立 2008年5月2日
- 資本金 84,407,500円
- 事業内容 業界に特化したプロダクト・サービスの開発、提供
- 本社 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-22-17 江戸堀イーストビル6F
- HPアドレス <https://ritaworks.jp/about.html>
- 連絡先 TEL 06-6443-5541 (代表)
FAX 06-6443-5542

ご挨拶

mirahos (ミラホス) は全国47都道府県の中核病院向けのWEBサイト制作・運用サービスです。2010年のサービス開始以来、全国450法人にご導入をいただき、病院業界に特化したサイト制作を続けてきました。

私たちのチームは、病院専門のプロフェッショナル集団として病院・求職者の視点に立った専門的な提案ができるチーム体制にあります。患者さんやご家族の方が安心できる情報をより早く正確に伝えること、多くの病院の特長や強みを伝え、病院の採用活動に貢献することが可能です。

これからも、事業を通して医療業界にある課題と向き合い、新しい病院の在り方をつくり、「誰もが安心して暮らせる未来」を実現します。

賛助会員のご紹介 (2024年9月・入会)



株式会社 エコ医療クリーン



法人概要 ●●●●●

- 社名 株式会社エコ医療クリーン
- 設立 2004年11月29日
- 資本金 2,000万円
- 所在地 〒223-0057 神奈川県横浜市北区新羽町2085
- 電話番号 045-633-1887 / FAX 045-633-1888
- 事業内容 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 対応エリア 神奈川県を中心に、1都5県の許可を保有しております。

ご挨拶 ●●●●●

創業20年を迎え、医療機関から排出される様々な廃棄物の適正処理を行ってまいりました。昨今、SDGsなど環境意識の高まりを受け、法令を遵守した適切な廃棄物処理を推進し、環境負荷の低減された資源循環型社会の構築を目指しております。今後も、様々な廃棄物の処理業者として安全衛生管理の教育を徹底して行い、微力ではありますが自然環境の保護と地域社会への貢献をテーマに、更なる努力を日々積み重ねてまいります。

- 神奈川県から優良事業者認定を受けて許可証に優良のマークが付与されました。
安心と安全を基本に排出事業者様に信頼されるパートナーへ更なる努力を積み重ねます。

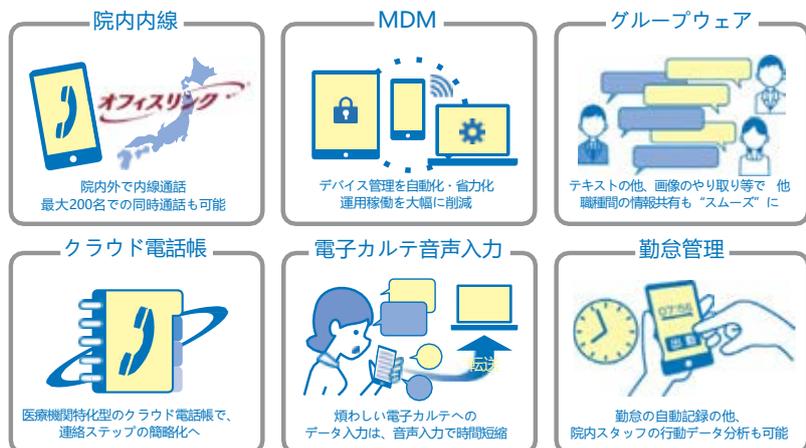
賛助会員のご紹介 (2024年9月・入会)



株式会社ドコモビジネスソリューションズ 神奈川支店



神奈川支店長 原田かおり



法人名

株式会社ドコモビジネスソリューションズ 神奈川支店

法人概要

- ・病院内DXに資するスマートフォン及び、ナースコール・電子カルテと連携可能なネットワークソリューション等のご提案
- ・病院内電話受付の混雑緩和や効率を目的としたフリーダイヤル、ナビダイヤル等の音声ソリューションのご提案

●所在地

神奈川支店 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-7-3 横浜メディアタワー
本社所在地 〒108-8118 東京都港区芝浦3丁目4番1号 グランパークタワー

●お問い合わせ先

電話番号：045-226-8011 (ドコモビジネスソリューションズ 神奈川支店 代表番号)
メールアドレス：com-kng1g2t@ntt.com (神奈川支店 医療業界担当)

ご挨拶

人口減少に伴う働き手不足や2024年4月医師の時間外労働上限規制など、年々厳しさを増す医療業界において、様々な医療現場の課題を解決することが業務効率化や医師、看護師不足の解消につながっていきます。弊社では早くから、医療機関様への取り組みを進めており、医療DXのノウハウやパートナー連携を強化しております。身近なスマートフォンなどを活用したソリューションの展開により、医療現場が直面している問題を解決すべく、最適なソリューションを提供します。弊社での導入事例をもとに命と向き合う医療現場の皆様の手助けとなれば幸甚に存じます。

編集 後記

コロナ禍がようやく落ち着き、世の中が日常を取り戻しつつある中、先日多くの病院が赤字経営となっているという情報を目にしました。筆者の勤務する病院の収支も令和5年度は前年と比べるとマイナスの収支となってしまいました。

コロナの流行期にはコロナのワクチン接種、診断のための検査、外来治療などの収入が通常診療の収入に加わり、収支が少しばかり改善していましたが、コロナ後はそれらがなくなり、収支が悪化する原因の一つになっていたと考えています。もちろんそれ以外にも、ロシアのウクライナ侵攻に伴う原油や食料品価格の高騰なども影響していると考えています。

全国の病院の収支の状況を確認するため、令和6年度病院経営定期調査にアクセスし調べてみました。それによりますと、100床当たりの医業利益については、令和4年度のマイナス20,563万円の赤字から、令和5年度はマイナス20,195万円の赤字とわずかに赤字幅が減少したものの、経常利益については、令和4年度のプラス13,334万円の黒字から、令和5年度はマイナス3,722万円と赤字に転落していました。これについてはコロナ関連の補助金の減少が影響していると書かれていました。また、赤字となっている病院の割合は、医業利益については、令和4年度の74.8%から令和5年度には

74.9%とわずかに増加し、経常利益については、23.0%から53.4%と30.4ポイント増加していました。コロナ禍では通常診療の縮小に伴う医業収益の減少をコロナ診療に対する補助金で何とか補っていましたが、それが減額され、病院の厳しい経営環境が数字として明確に表れてきていると感じました。

令和6年には、職員の賃上げ対応なども含めた診療報酬の改定がありましたが、プラス改定の部分は職員の賃金に回さざるを得ず、病院の経営という点では厳しいものだったと思います。患者さんには良い医療を提供する必要がありますが、それには費用が掛かるということを理解いただき診療報酬に反映させてもらいたいものです。

さて、去年は石川県能登地方の震災、羽田空港での飛行機事故という大きな災害や事故で1年が始まり、漠とした不安な気持ちで正月を過ごしていたことが思い出されます。能登地方ではその後大雨の被害もあり、今も避難生活をしておられる方もいらっしゃると思います。

災害という点ではよい年ではなかったと思いますが、一方で、パリオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍、アメリカ大リーグでの日本人選手の活躍など、スポーツでは明るい話題も多かったように思います。神奈川県の病院

に勤務していますので、その中でもプロ野球、横浜DeNAベイスターズの日本一が印象的でした。ベイスターズはレギュラーシーズンでは5割そこそこの3位でしたから、日本シリーズで優勝するとは思っていませんでした。レギュラーシーズンで3位のチームが短期決戦を勝ち抜いて優勝してしまうことに釈然としない気持ちを持つ方も多いようです。しかし考えてみますと、パリーグで優勝したホークスも長いレギュラーシーズンの中で調子の悪い時期には負けが込むこともあったはずですので、たまたまそのような状態の時に日本シリーズを戦

うことになったということなのかもしれません。長い期間の統計などを取れば、レギュラーシーズンの成績が良いチームほど日本シリーズで優勝する可能性が高いという結果が出ると思っています（実際に確認したわけではありませんが）。今年のプロ野球では昨年のようなことは起きず、レギュラーシーズンを制したチームが順当に日本一になるのでしょうか。

令和7年2月1日 記

神奈川県病院協会 理事 栗田 啓司

公益社団法人神奈川県病院協会會報
〈第55号〉

発行 公益社団法人神奈川県病院協会 会長 吉田 勝明
〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館4階
TEL 045-242-7221(代)

発行日 2025年3月7日

編集者 広報委員会

長堀 薫 太田 史一 三松 興道 栗田 啓司

平林 広康 高野 昇平 武田 朋久

印刷所 中川印刷株式会社

〒231-0036 横浜市中区山田町7-1 TEL 045-261-2101

掲載広告 一覧

株式会社アイネット

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 神奈川県支部

株式会社アイネット

表紙（裏）

裏表紙（裏）

裏表紙（表）

公益社団法人神奈川県医師会

神奈川県医療福祉企業年金基金

株式会社柴橋商会

望星サイエンス株式会社

横浜ベイホテル東急

山王総合株式会社

神奈川県医療従事者健康保険組合

株式会社神医社

損害保険ジャパン株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

相模トラリアム株式会社



命をつなぐ
これまでも
これからも

神奈川県医師会

医療を受ける権利を、

社会のあたりまえのシステムとして持続させ
県民の皆様へ安心安全な医療を提供します

医療情報を 正しく発信し、

医療が社会的共通資本
であることの理解を得るための
努力を続けます

持続可能な 医療提供体制の 維持・構築のため、

行政・議会・大学・医療機関等と
連携し、頼れる医療提供団体で
あり続けます

開業医、勤務医、
医学生等を問わず、
どの年代、性別、立場、
状況においてもサポートし、
**安定した医療供給を
通して社会へ
貢献し続けます**

医業の独自性をいかしながら 健康保険事業を運営しています

当組合加入のメリット

保険料が協会けんぽより安い

事業主

経費が削減

被保険者

給与・賞与
手取りアップ

神奈川県医療従事者健康保険組合

理事長 菊岡 正和

副理事長 吉田 勝明

常務理事 澤井 博司

〒231-0033

横浜市中区長者町 3-8-11 リッシュアヴェニュー横濱関内 5 階

TEL : 045-641-3400 FAX : 045-222-7718

URL : <https://www.ijyu-kenpo.jp/>

働く人の将来を支える 企業年金基金

企業年金基金とは退職金制度の一つで、
国の年金に上乗せして受けられる、もう一つの年金制度です。



事業主のメリット

掛金は全額
損金に
計上できる!

退職金制度
として
活用できる!

加入者のメリット

掛金は全額
会社負担!

年金または
一時金
が選べる!

事業主は、基金の掛金を全額損金（必要経費）に計上でき、税制上優遇されます。また、一時金でも受け取れるため、退職金制度としてご活用いただけます。さらに、企業の福利厚生充実を図ることで、優秀な人材の確保・定着に効果的です。

加入者は、会社が掛金を全額負担するため、負担はありません。年金として受ける場合は雑所得とみなされ、公的年金等控除が受けられます。一時金として受ける場合は退職所得とみなされ、退職所得控除が受けられます。

神奈川県医療福祉企業年金基金

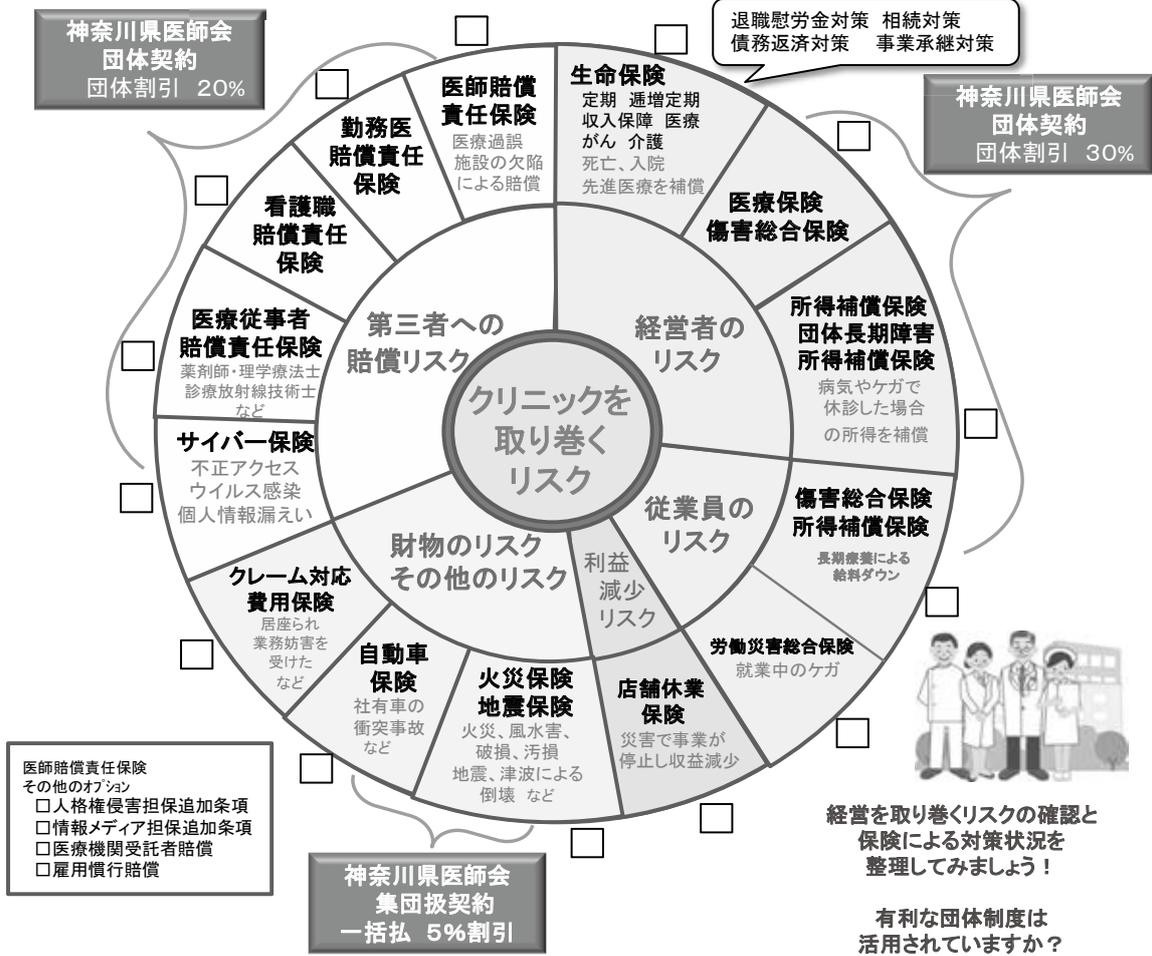
〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町1-6-7F

TEL 045-222-0450

受付時間 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
土日祝日、年末年始を除く

ホームページ <http://www.kanagawa-iryoku-kikin1137on.jp>

クリニックの安心 グルリ360度



有利な医師会団体制度のご活用をおすすめします 損害保険、生命保険は神医社にお任せください

*このチラシは概要を説明したものです。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご契約にあたっては必ず各社商品パンフレットおよび「重要事項等説明書 契約の概要のご説明・注意喚起情報のご説明」などをご覧ください。また、詳しくは「普通保険約款・特約集」をご用意しておりますので当社または引受保険会社までご請求ください。集団扱の対象となる種目、集団扱の対象となる方の範囲、集団扱特約失効時の取扱いについては当社までお問い合わせください。

*集団扱一括払 5%割引は地震保険には適用されません

<取扱代理店>

神奈川県医師会指定保険代理店

株式会社 **神 医 社**

(受付時間 平日の午前9時から午後5時まで)

〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館4階

TEL (045) 231-7759 FAX (045) 243-5451

E-mail: jin-isya@jin-isya.co.jp URL: https://jin-isya.co.jp

<引受保険会社> 損害保険ジャパン(株) あいおいニッセイ同和損害保険(株) 東京海上日動火災保険(株)

三井住友海上火災保険(株) SOMPO ひまわり生命保険(株)



清潔は、 ウソをつかない。

創業以来95年。

柴橋商会は清潔にこだわってきました。

それは柴橋商会の製品を利用する人が

病気やケガで入院していたり、

高齢で介護を必要としている人だから。

身体が弱っている人を守る

基本的で最良の方法が「清潔」だという信念を、

今も変わらず持っているからです。

私たちはこれからも、気を抜かず、

一つ一つ丁寧に消毒・検査することで、

極めて衛生的な製品を提供し続けます。

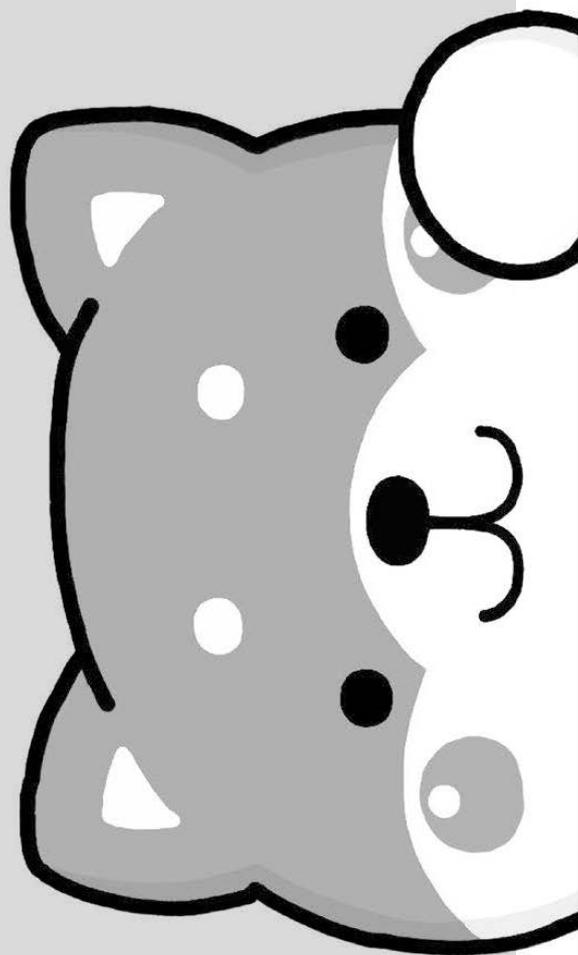
医療・福祉の現場で、

必要としている人のいつも近くに。

100年人生の、
清潔と安心を支える。

 SHIBAHASHI

株式会社柴橋商会 www.shibahashi.co.jp





受け継ぐのは、人への思い。

私たちのはじめは130年以上前の明治時代。

「人々の暮らしや幸せをお守りしたい」

この創業の思いが、原点であり原動力です。

これからも、すべての人々の幸せとより良い社会の実現に向け、

私たちは挑み続けます。



東京の街を守るため結成された
私設消防団
「東京火災消防組」
(1888年)



損保ジャパンの
ブランドストーリーは
こちら▶



損保ジャパン

望星サイエンス

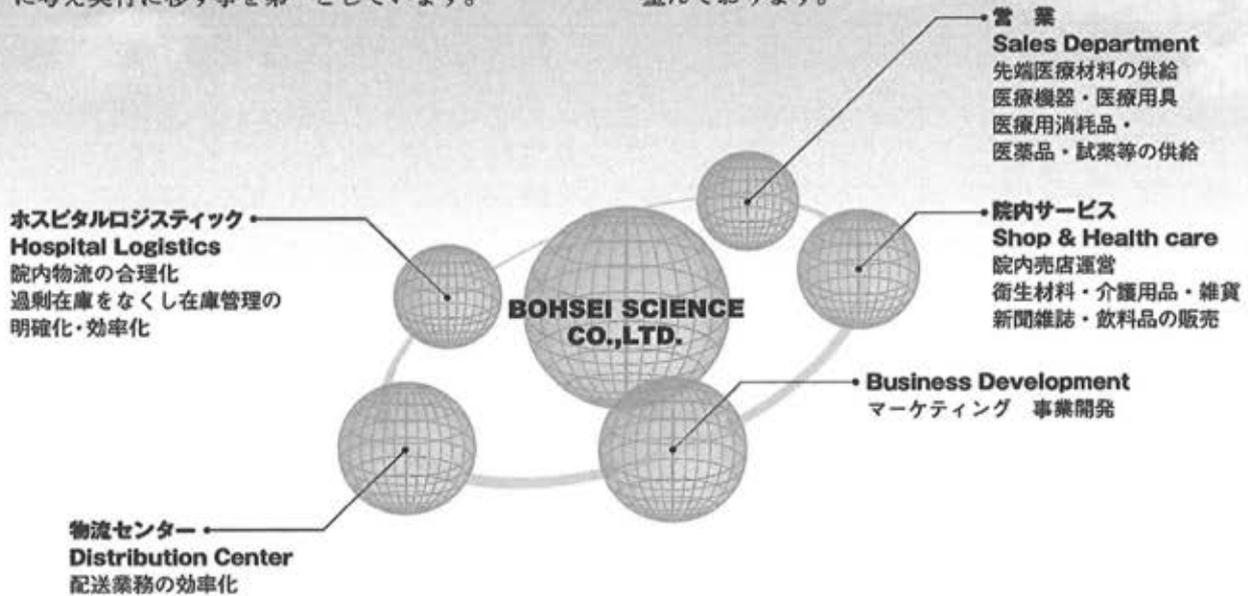
「健康で快適な人生」をめざして

社員一人一人の英知と知識を持って、
未来の扉を開くお手伝いをさせていただきます。

当社は昭和52年創立以来、一貫して優秀な医療器械、医療用具、医薬品、試薬などの医療用品全般を供給することにより、社会全体のニーズに答えるとともに、今何が望まれているか、何をすべきかを常に考え実行に移す事を第一としています。

英知と知識の向上を図ると共に社会に貢献する意識を常に持ち、企業の存在意義を全うするため、長期的視野に基づいた事業展開をすすめております。

当社の未来は医療とともに人類の“無限の発展”を望んでおります。



会社概要

商号 望星サイエンス株式会社
設立年月日 昭和52年(1977)6月29日
代表取締役 渡部 重行

<http://www.bousei.co.jp>

取扱商品

医療機器 X線装置、CT、MRI、ICU、脳波計、
心電計等
医療器具 治療・検査用器具
整形外科用各種インプラント器具
手術用工具等
医療用消耗品 ディスポーザブル製品、
衛生材料等
介護用品 ベッド、車椅子、紙おむつ等
什器備品 机、椅子等
事務用機器 コンピュータ及び周辺機器等

業務内容

- 医療機器、医療器具、医療消耗品、
医薬品他の販売
- 計測機器
(電子機器、各種計測器及び部品)の販売
- 事務機器及び事務用品の販売
- 売店の設計及び運営管理
- 病院の設計及び運営管理
- 薬局の設計及び運営管理
- 病院・医院・老健施設の開院サポート業務
- 物流管理サポート業務



望星サイエンス株式会社

【本社】 〒113-0033
東京都文京区本郷5丁目5番14号
【整形特販課】 〒243-0036
神奈川県厚木市長谷260番29号
【神奈川営業所】 〒224-0033
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東4丁目7番19号

TEL.03 (3818) 6531(代)
FAX.03 (3814) 7720
TEL.046 (250) 4101(代)
FAX.046 (250) 4104
TEL.045 (948) 0055(代)
FAX.045 (948) 0618

神奈川県病院協会 会員の皆さまへ

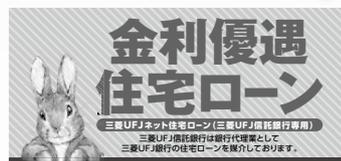


ご存知ですか？

お取引先社員・職員さま 専用サイト



専用サイト内限定のキャンペーンやおすすめの商品などおトクな情報を掲載しています。



BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2025

上記は「お取引先社員・職員さま専用サイト」内でご覧いただけるバナーなどの一部イメージです。キャンペーンの賞品提供や金利の適用には必要条件がございます。各種商品・ご利用条件・最新情報につきましては専用サイトで必ずご確認ください。

※お勤め先などによってはお使いいただけない商品・キャンペーンなどもございますのでご了承ください。

商号等 三菱UFJ信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号 加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

アクセス方法

三菱UFJ信託銀行 検索
または
www.tr.mufg.jp

トップ画面上部の
「お取引先社員・職員さま」
ボタンをクリック

ユーザー ID : ishi
パスワード : doctor



スマートフォンの方はこちら

三菱UFJフィナンシャル・グループの選択ページが表示された場合は「三菱UFJ信託銀行 お取引先社員・職員さま専用サイト」をご選択ください。

三菱UFJ信託銀行

世界が進むチカラになる。



「安心・豊かな社会」を創り出す信託銀行 Create a Better Tomorrow

2024年12月12日現在



Welcome to the “Urban Oasis”

みなとみらいの中心に位置し、横浜港を見渡す横浜ベイホテル東急。
みなとみらい駅から徒歩1分という都市ホテルの機能と利便性に加え、
上質なやすらぎの空間、洗練された味、
そして心を尽くしたおもてなしで皆様をお迎えいたします。



THE YOKOHAMA BAY
HOTEL TOKYU

〒220-8543 横浜市西区みなとみらい2-3-7



●●● STC 21世紀のバリュークリエイター

**BEST VALUE,
BEST AMENITIES**

価値有るサービスから快適な生活環境を 生み出すチカラ、
それが私たちSTCです。

相模トライアム株式会社

ISO 14001 ISO/IEC27001 認証取得

神奈川県相模原市中央区鹿沼台1丁目9番15号

TEL 042(752)2652(代) FAX 042(752)1124

URL: <http://www.bm-stc.co.jp>

人と環境と技術を結ぶ
トータルネットワークシステムにより
あらゆるニーズにお応えします



<業務内容>

- 建築施工 • 土木施工 • 設備施工
- 設備管理 • 環境衛生管理
- 保安警備 • 人材支援
- 医療機器設備 • システム管理
- 研修施設の委託運営 他



～ 心を込めた技術と安心 ～

山王総合株式会社

本社 〒259-1142 神奈川県伊勢原市田中141 TEL0463-95-7700 FAX0463-95-9220

www.sanno-sogo.co.jp

東海大学病院支店/大磯支店/八王子支店/湘南支店/県央支店/横浜支店/埼玉支店/札幌支店

これからの医業経営へ、「信頼」で結びたい。



医療・保健・介護・福祉施設が抱えるあらゆる課題を、
資格認定されたコンサルタントが解決します。

『認定登録 医業経営コンサルタント』は、医業経営に携わる方々が直面する課題に
的確・迅速に対応するため、所定の継続研修を履修し、常に資質の向上を図っています。



公益社団法人
日本医業経営コンサルタント協会

神奈川県支部 支部長 細谷 邦夫

支部 〒252-0335 神奈川県相模原市南区下溝4378(株式会社オカエ相模原営業所内) TEL:042-778-2067 FAX:042-778-2012 <https://www.jahc-kanagawa.org>

本部 〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15ホスピタルプラザビル5階 TEL:03-5275-6996 FAX:03-5275-6991 <https://www.jahmc.or.jp>

介護タクシー配車アプリ

退院調整

救急からの下り

神奈川県内
導入病院数

40以上!



総合病院、国公立病院、
リハビリテーション病院、
大学病院 など

ご利用される方の情報を事前に入力するだけで、いつでも予約が可能です。



タクシーを予約したい方
(病院)



マッチング!!

配車依頼 (情報入力)

見積提示

正式依頼



タクシー事業者

病院の業務を効率化

アプリに入力して待っている間も別の業務ができます。時間の短縮と労力削減に効果的です。

項目通りに入力すれば見積もりが届きます。簡便で正確に効率よく利用できます。



介護タクシー事業者と何度も電話でやり取りしたり、同じ情報を複数のタクシー会社に繰り返し伝えることがなくなります。

個人情報 (利用者名、番地・マンション名等) は予約が確定したタクシー事業者様のみ知ることができます。



アプリの利用料は無料!

※タクシーの利用料金は利用時に別途発生します

導入・ご利用に費用はかかりません。お気軽にお問い合わせください。

介護タクシー アイネット 🔍 検索

* windows パソコンのみご利用可能



タブレット

様々なデバイスに対応しています
どんな場所でもご利用できます



情報は、国内最高クラスの安全性とセキュリティを備えたアイネットのデータセンターで管理されます。

通信は全て暗号化されています。また、当サービスへ接続できるのは、あらかじめ登録されたユーザーに限定しており、外部からの不正アクセスを防ぎます。



inet.co.jp/product/dx/i-carego.html

inet 株式会社 アイネット 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 5-1-2
横浜シンフォステージ ウエストタワー 13階

TEL : 045-682-0808

Mail : i-carego_service@inet.co.jp